

# 橿原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 策定に関するアンケート調査報告書

平成 27 年 12 月

橿原市

## < 目 次 >

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 1. 調査結果の概要.....             | 1  |
| (1) 調査目的.....               | 1  |
| (2) 調査方法.....               | 1  |
| (3) 回答結果.....               | 1  |
| 2. 市民アンケート.....             | 2  |
| (1) 回答者の属性について.....         | 2  |
| ① 性別.....                   | 2  |
| ② 年齢.....                   | 2  |
| ③ 居住地区.....                 | 3  |
| ④ 同居家族の構成.....              | 3  |
| ⑤ 同居家族の人数.....              | 4  |
| ⑥ 居住形態.....                 | 4  |
| ⑦ 本人、配偶者（パートナー）の職業.....     | 5  |
| ⑧ 本人、配偶者（パートナー）の就業地.....    | 5  |
| (2) 檀原市のイメージや住みやすさについて..... | 6  |
| ① 現在の生活の満足度.....            | 6  |
| ② 住みやすさ.....                | 7  |
| ③ 居住環境.....                 | 7  |
| ④ 通算居住年数.....               | 8  |
| ⑤ 現在のところに住むことになったきっかけ.....  | 8  |
| ⑥ 引越し経験の有無（市内での転居を含む）.....  | 9  |
| ⑦ 引越しの際に現在の居住地を選んだ理由.....   | 10 |
| ⑧ 就業先としての魅力.....            | 10 |
| ⑨ 子育てにおける魅力.....            | 11 |
| (3) 結婚観について.....            | 12 |
| ① 結婚に対するイメージ.....           | 12 |
| ② 配偶者の有無.....               | 12 |
| ③ 未婚（独身）者の結婚観.....          | 13 |
| ④ 結婚するための条件.....            | 14 |
| ⑤ 結婚する場合の住みたい場所.....        | 14 |
| ⑥ 初婚の年齢.....                | 15 |
| ⑦ 結婚を決めた直接的なきっかけ.....       | 15 |
| ⑧ 行政が行う婚活支援等に対する考え.....     | 16 |
| ⑨ 行政が行う婚活支援等で参加したいもの.....   | 16 |

|  |           |
|--|-----------|
| (4) 子育て観について.....                                  | 17        |
| ① 子どもの有無.....                                      | 17        |
| ② 今後さらに欲しいと考えている子どもの人数.....                        | 17        |
| ③ 理想または希望する子どもの人数.....                             | 18        |
| ④ 現実的に欲しい子どもの数が理想的とする子どもの数より少ない原因.....             | 18        |
| ⑤ 不妊のリスクに関する知識.....                                | 19        |
| ⑥ 不妊の不安や悩みの有無.....                                 | 19        |
| ⑦ 子育てへの親や親族サポートの状況.....                            | 20        |
| ⑧ 配偶者（パートナー）の家事や育児への関わり方への満足度.....                 | 20        |
| (5) 仕事、家庭生活、個人の生活(地域活動、趣味・学習など)の現実と希望の優先度について..... | 21        |
| (6) 今後の檀原市での居留意向について.....                          | 22        |
| ① 今後の居留意向.....                                     | 22        |
| ② 住み替えの時期.....                                     | 22        |
| ③ 住み替えの理由.....                                     | 23        |
| ④ 住み替えの際に重視すること.....                               | 23        |
| ⑤ 希望する住み替え先の地域.....                                | 24        |
| ⑥ 住み替え先として市外を希望する理由.....                           | 24        |
| (7) 今後の中南和の拠点都市における本市のあり方について.....                 | 25        |
| ① 中南和の拠点都市における本市のあり方について.....                      | 25        |
| ② 檀原市のよいところ（自由回答）.....                             | 26        |
| <b>3. 転出者アンケート.....</b>                            | <b>27</b> |
| (1) 回答者の属性について.....                                | 27        |
| ① 性別.....  | 27        |
| ② 年齢.....  | 27        |
| ③ 現在の居住地域.....                                     | 28        |
| ④ 同居家族の人数.....                                     | 28        |
| ⑤ 転居前後の同居家族構成.....                                 | 29        |
| ⑥ 居住形態.....  | 29        |
| ⑦ 本人、配偶者（パートナー）の職業.....                            | 30        |
| (2) 転居の動機や転居先の決定について.....                          | 30        |
| ① 本市での居住年数.....                                    | 30        |
| ② 本市から転居した主な理由.....                                | 31        |
| ③ 転居先を決める際に考慮したこと.....                             | 31        |
| ④ 市内での転居における検討の有無.....                             | 32        |
| (3) 本市に対するイメージや魅力・不満について.....                      | 33        |
| ① 本市に住んでいた時のイメージ.....                              | 33        |
| ② 本市の魅力.....                                       | 33        |

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| ③ 本市に対する不満.....                | 34 |
| (4) 居住意向について.....              | 35 |
| ① 本市での居住意向.....                | 35 |
| ② 本市に住むための条件.....              | 35 |
| ③ 橿原市の現状や将来のあり方について（自由回答）..... | 36 |

## 1. 調査結果の概要

### (1) 調査目的

平成 26 年 11 月に施行された「まち・ひと・しごと創生法」に基づく、「橿原市人口ビジョン」及び「橿原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定のため、市民から本市の魅力や今後の居住意向などについての意見を把握し、戦略策定の参考資料とします。

### (2) 調査方法

- ・ 調査対象

市民アンケート：市内に住所を有する 18 歳以上の男女の中から無作為に抽出した 2,000 人

転出者アンケート：市外へ転出した 20 歳以上の男女の中から無作為に抽出した 500 人

- ・ 調査方法

郵送によるアンケート

- ・ 調査期間

平成 27 年 11 月 2 日（月）～11 月 18 日（水）

### (3) 回答結果

- ・ 市民アンケート：発送数 2,000 通、有効回収数 740 通、有効回収率 37.0%

- ・ 転出者アンケート：発送数 500 通、有効回収数 127 通、有効回収率 25.4%

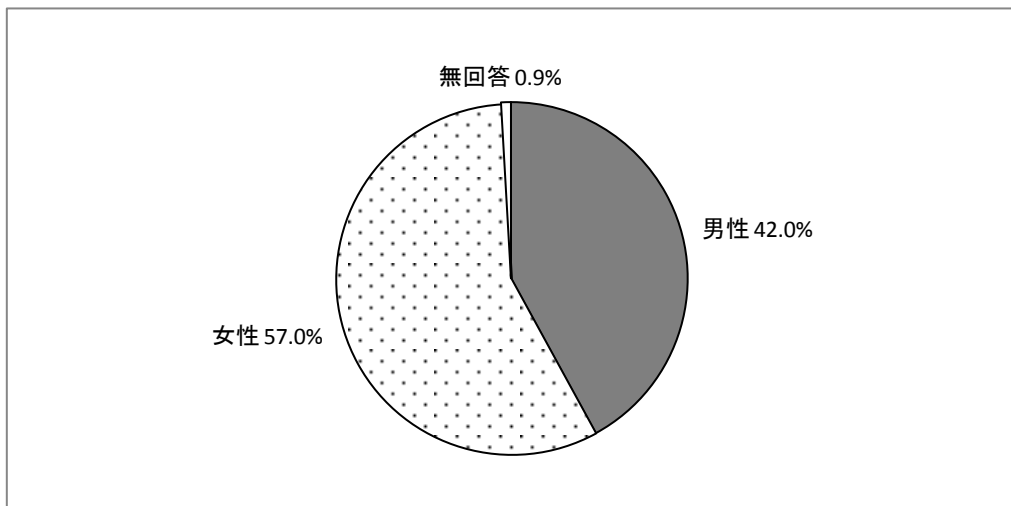
## 2. 市民アンケート

### (1) 回答者の属性について

#### ① 性別

回答者の性別については、「女性」(57.0%)、「男性」(42.0%) となっています。

図表-1 回答者の性別 [n=740]

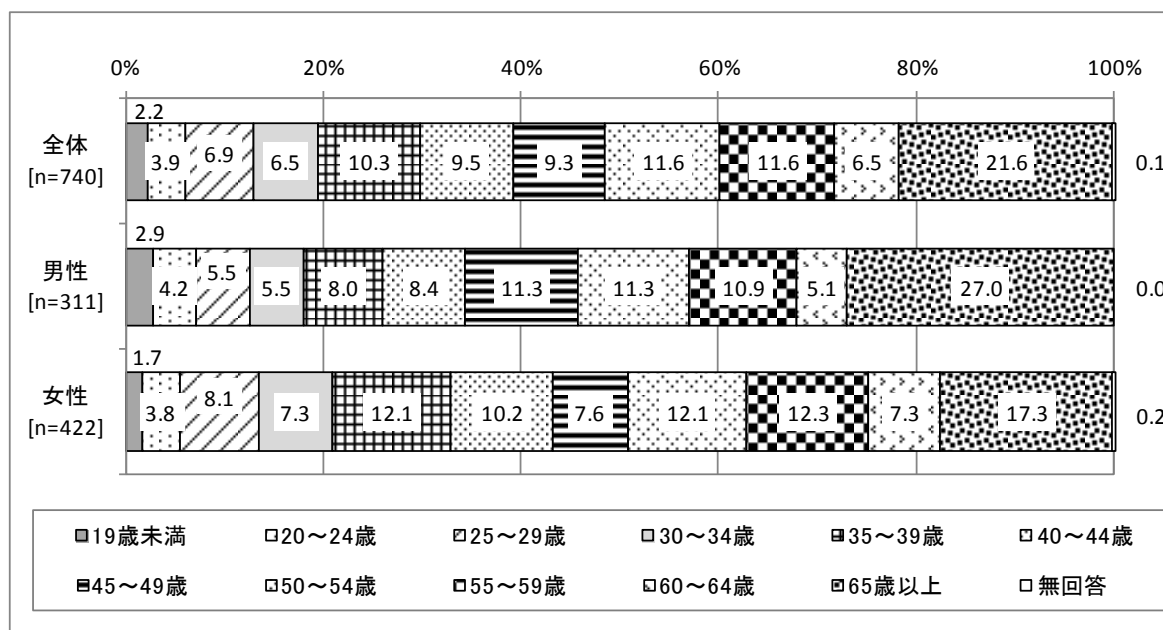


#### ② 年齢

回答者の年齢については、「65歳以上」(21.6%) が最も多く、次いで「50～54歳」、「55～59歳」(ともに11.6%) となっています。

男女別にみると、男性は女性に比べて65歳以上の割合が9.7ポイント高くなっています。

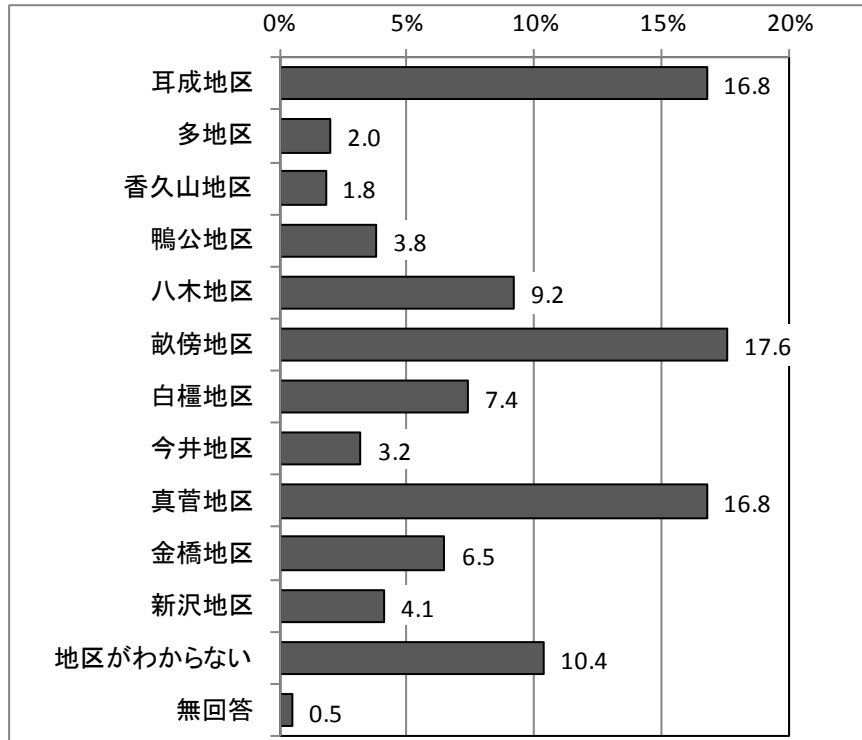
図表-2 回答者の年齢



### ③居住地区

回答者の居住地区については、「畝傍地区」（17.6%）が最も高く、次いで「耳成地区」（16.8%）、「真菅地区」（16.8%）となっています。

図表-3 回答者の居住地区 [n=740]

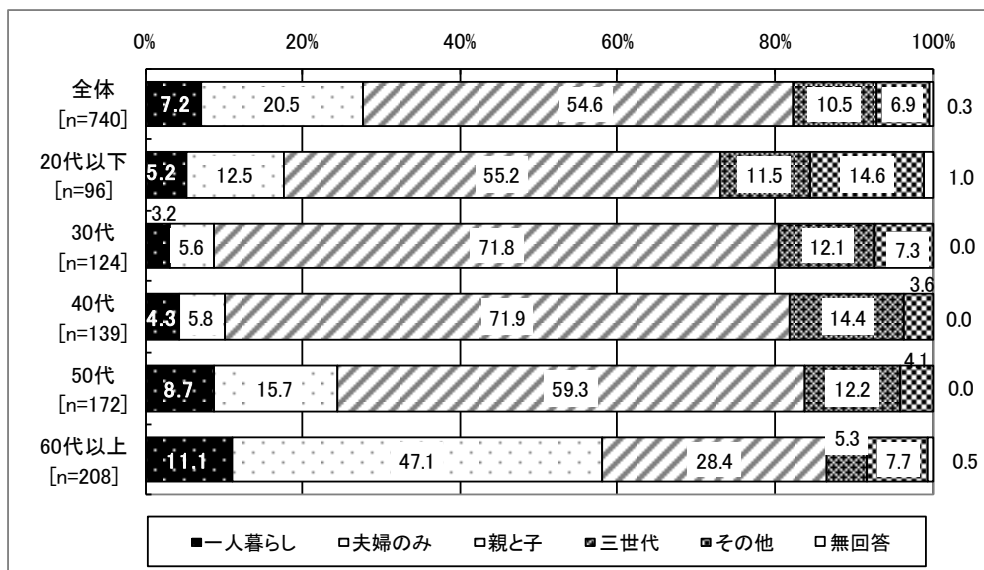


### ④同居家族の構成

同居している家族構成については、「親と子」（54.6%）が最も高く、次いで「夫婦のみ」（20.5%）「三世代」（10.5%）となっています。

年代別にみると、「50代以下」は「親と子」が最も高く、特に、「30代」（71.8%）、「40代」（71.9%）が高くなっています。また、「60代以上」では「夫婦のみ」が47.1%となっています。

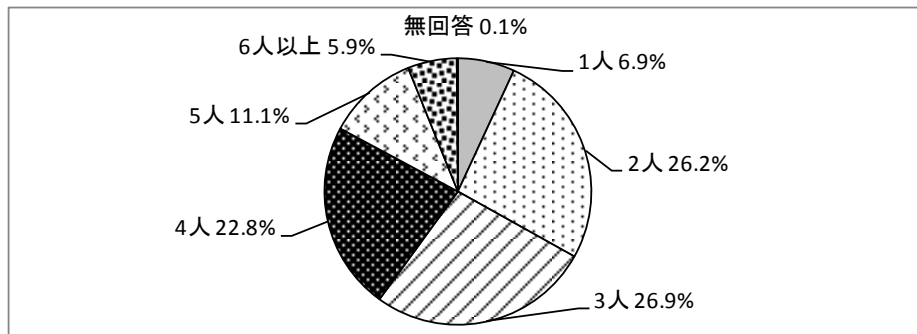
図表-4 同居家族の構成



⑤同居家族の人数

同居している家族の人数については、「3人」(26.9%)が最も高く、次いで「2人」(26.2%)、「4人」(22.8%)となっており、平均では3.3人となっています。

図表-5 同居家族の人数 [n=740]



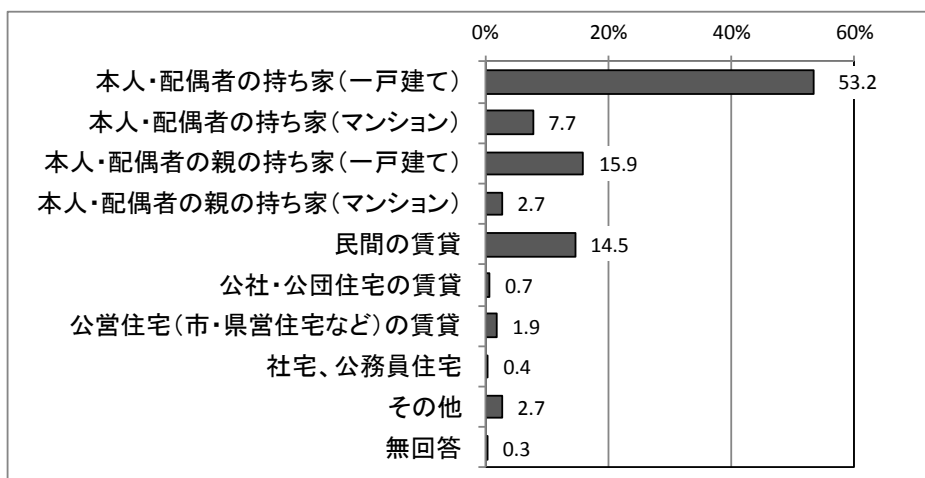
\*本人含む

⑥居住形態

居住形態については、「本人・配偶者の持ち家(一戸建て)」(53.2%)が最も高く、次いで「本人・配偶者の親の持ち家(一戸建て)」(15.9%)、「民間の賃貸」(14.5%)となっています。

年代別にみると、「20代以下」では「本人・配偶者の親の持ち家(一戸建て)」(43.8%)が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれ、「本人・配偶者の持ち家(一戸建て)」の割合が高く、「60代以上」では77.9%となっています。

図表-6 居住形態 [n=740]



図表-7 年代別 居住形態 [n=740]

|       | 合計 (n=) | 居住形態 (%)         |                   |                    |                     |       |            |                   |          |     |     |
|-------|---------|------------------|-------------------|--------------------|---------------------|-------|------------|-------------------|----------|-----|-----|
|       |         | 本人・配偶者の持ち家(一戸建て) | 本人・配偶者の持ち家(マンション) | 本人・配偶者の親の持ち家(一戸建て) | 本人・配偶者の親の持ち家(マンション) | 民間の賃貸 | 公社・公団住宅の賃貸 | 公営住宅(市・県営住宅など)の賃貸 | 社宅、公務員住宅 | その他 | 無回答 |
| 20代以下 | 96      | 8.3              | 1.0               | 43.8               | 9.4                 | 29.2  | 1.0        | 2.1               | 1.0      | 4.2 | 0.0 |
| 30代   | 124     | 39.5             | 4.8               | 22.6               | 6.5                 | 21.0  | 0.0        | 1.6               | 0.0      | 3.2 | 0.8 |
| 40代   | 139     | 47.5             | 10.1              | 20.1               | 1.4                 | 14.4  | 0.7        | 2.2               | 0.7      | 2.9 | 0.0 |
| 50代   | 172     | 62.8             | 11.6              | 9.9                | 0.6                 | 9.9   | 1.2        | 1.7               | 0.0      | 2.3 | 0.0 |
| 60代以上 | 208     | 77.9             | 7.7               | 1.4                | 0.0                 | 7.7   | 0.5        | 1.9               | 0.5      | 1.9 | 0.5 |

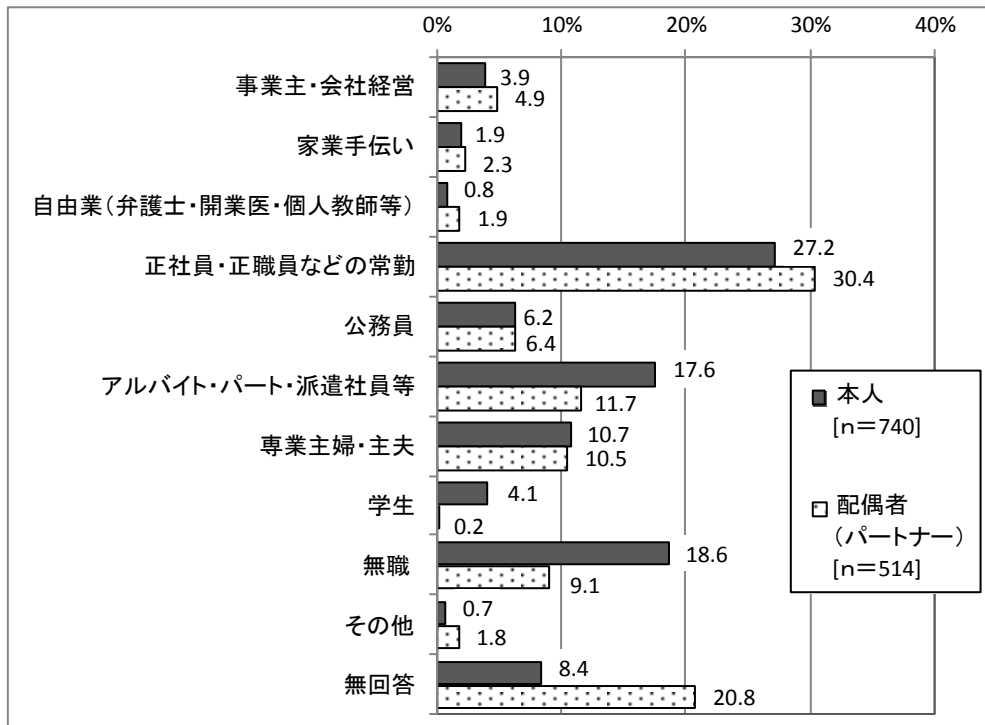


⑦本人、配偶者(パートナー)の職業

本人の職業については、「正社員・正職員などの常勤」(27.2%)が最も高く、次いで「アルバイト・パート・派遣社員等」(17.6%)となっています。

配偶者(パートナー)の職業については、本人と同様に、「正社員・正職員などの常勤」(30.4%)が最も高く、次いで「アルバイト・パート・派遣社員等」(11.7%)となっています。

図表-8 本人、配偶者(パートナー)の職業

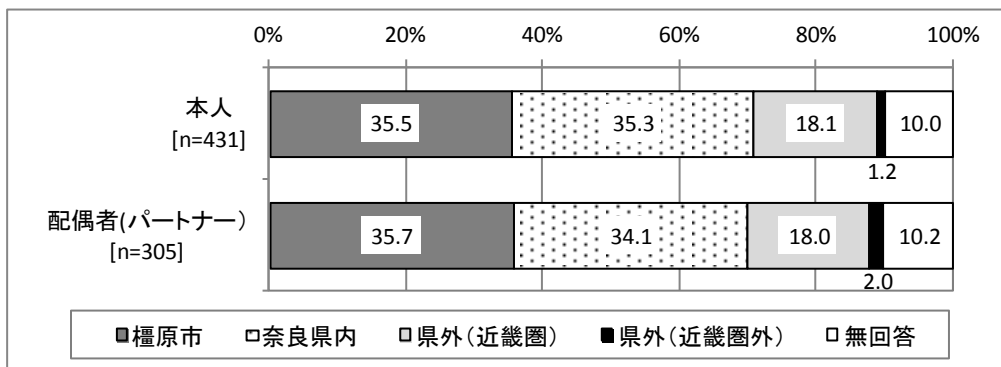


⑧本人、配偶者(パートナー)の就業地

本人の就業地については、「橿原市」(35.5%)が最も高く、次いで「奈良県内」(35.3%)となっています。

配偶者(パートナー)の就業地については、本人と同様に、「橿原市」(35.7%)が最も高く、次いで、「奈良県内」(34.1%)となっています。

図表-9 本人、配偶者(パートナー)の就業地



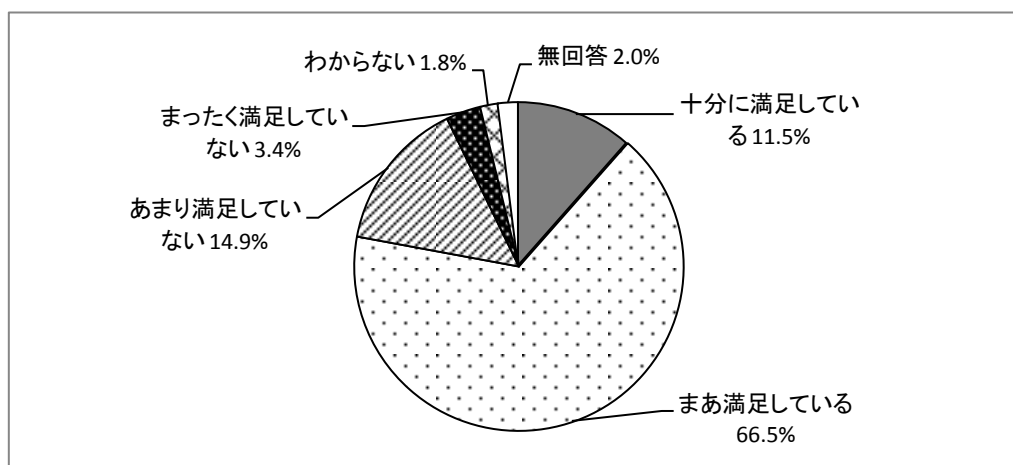
## (2) 橿原市のイメージや住みやすさについて

### ①現在の生活の満足度

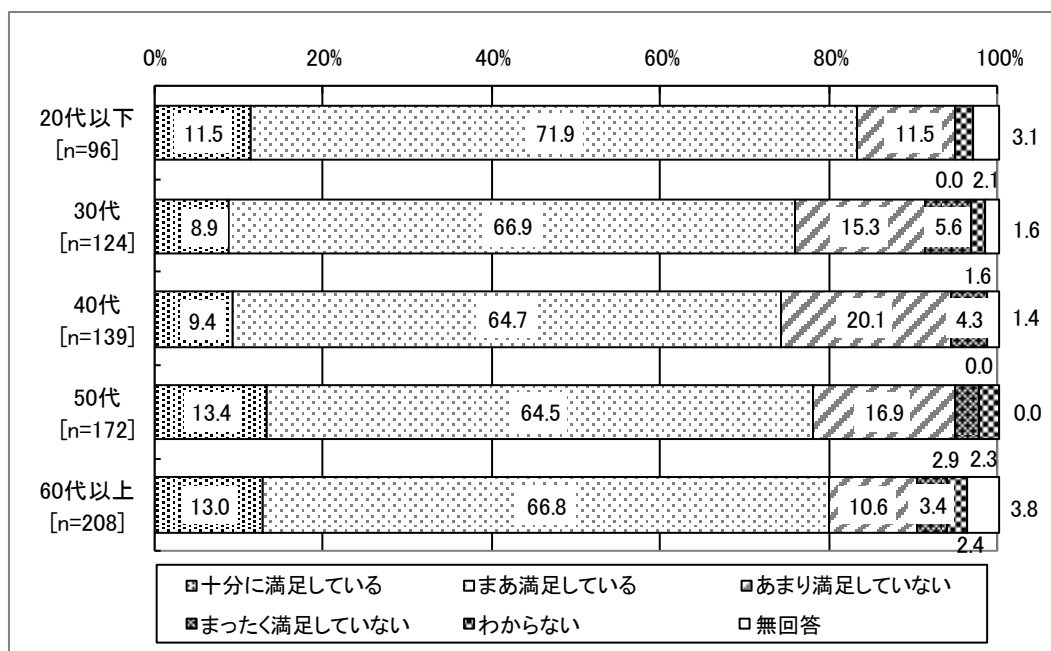
現在の生活に対する満足度については、「満足している（『十分に満足している』と『まあ満足している』の合計）」（78.0%）、「満足していない（『あまり満足していない』と『まったく満足していない』の合計）」（18.3%）となっています。

年代別にみると、どの年代も「まあ満足している」人の割合が高く、「満足していない（『あまり満足していない』と『まったく満足していない』の合計）」は、「30代」（20.9%）、「40代」（24.4%）、「50代」（19.8%）となっています。

図表－10 現在の生活の満足度 [n=740]



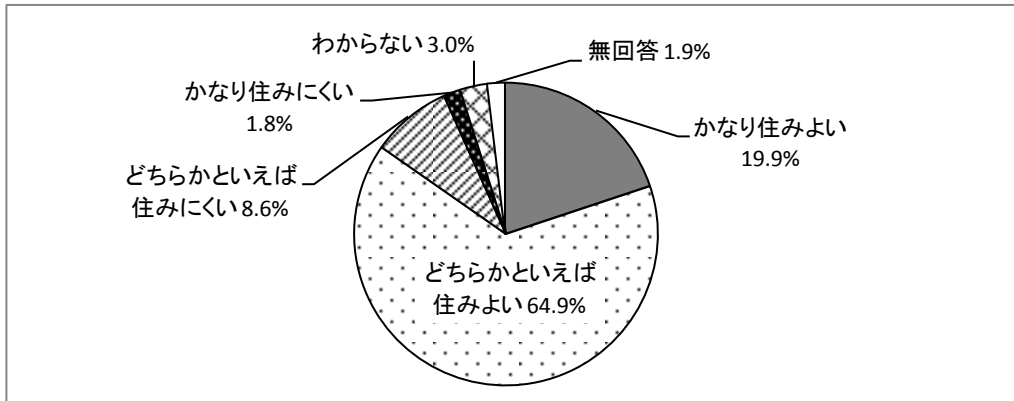
図表－11 年代別 現在の生活の満足度 [n=740]



### ②住みやすさ

住みやすさについては、「住みやすい（『かなり住みよい』と『どちらかといえば住みよい』の合計）」（84.8%）、「住みにくい（『どちらかといえば住みにくい』と『かなり住みにくい』の合計）」（10.4%）となっています。

図表－12 住みやすさ [n=740]

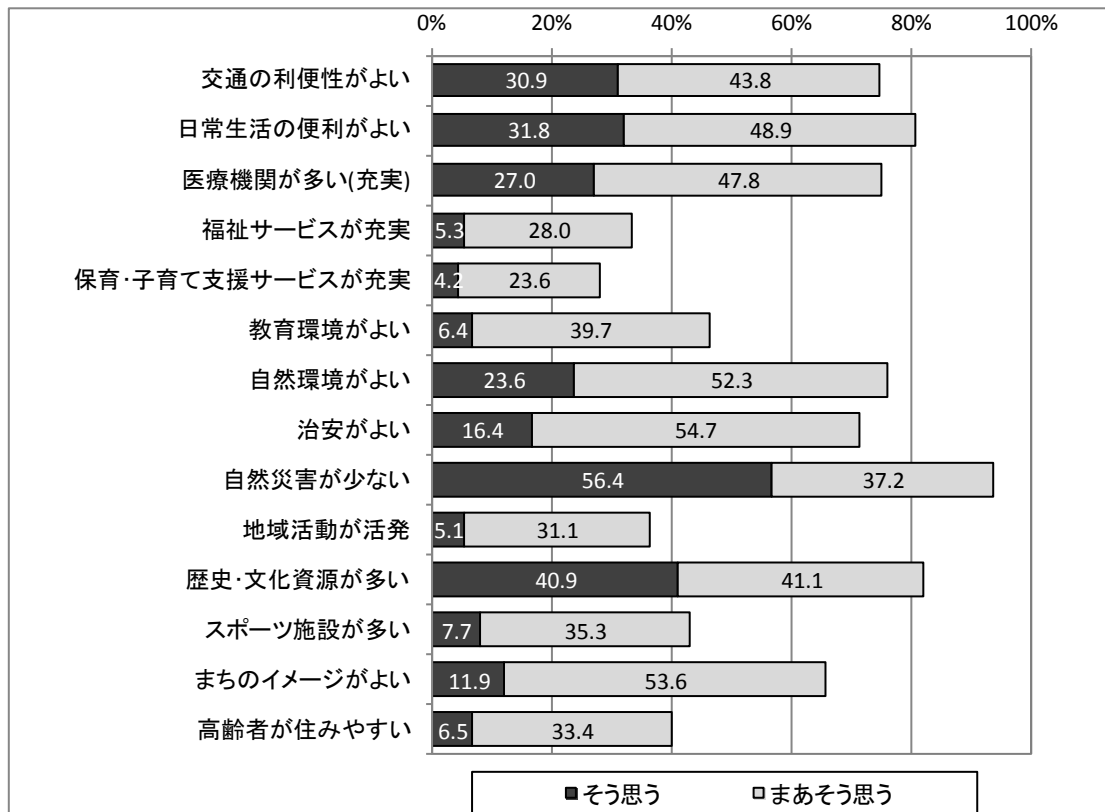


### ③居住環境

居住環境については、「そう思う」と「まあそう思う」とあげた人の合計で見ると、「自然災害が少ない」（93.6%）が最も高く、次いで「歴史・文化資源が多い」（82.0%）、「日常生活の便利がよい」（80.7%）となっています。

一方、「保育・子育て支援サービスが充実」（27.8%）、「福祉サービスが充実」（33.3%）は他に比べて低くなっています。

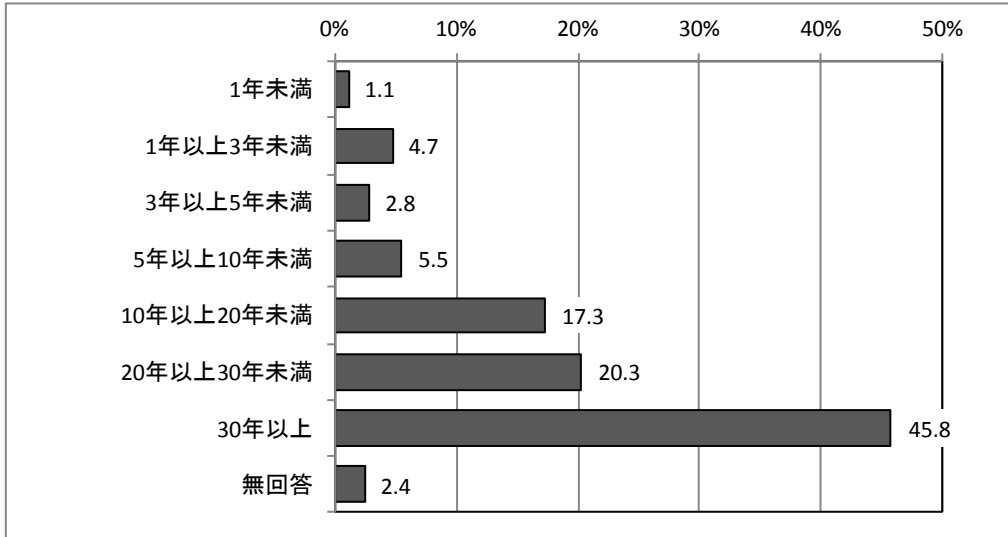
図表－13 居住環境 [n=740]



#### ④通算居住年数

本市での通算居住年数（以前に転出して戻った場合については、前に住んでいた年数も含める）については、「30年以上」（45.8%）が最も高く、次いで、「20年以上30年未満」（20.3%）となっています。

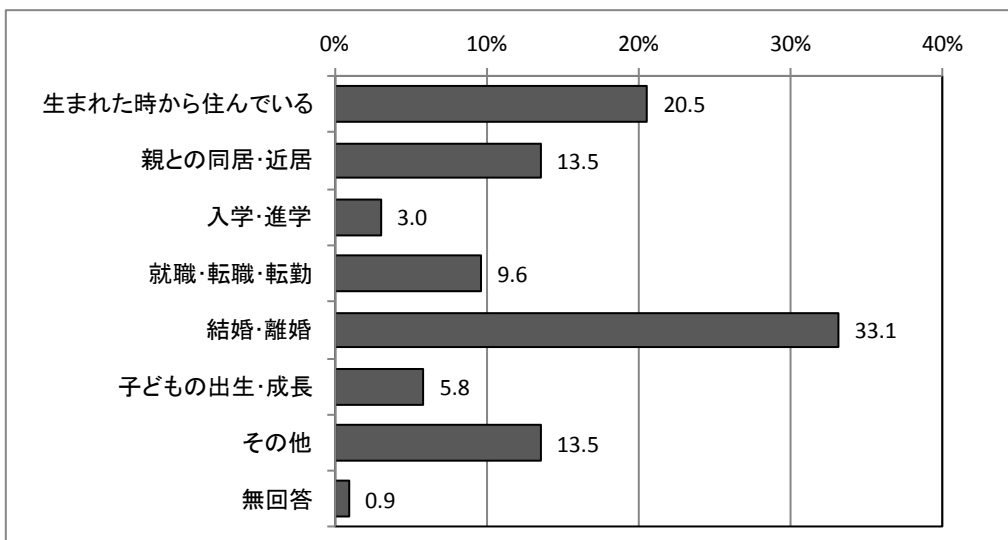
図表－14 通算居住年数 [n=740]



#### ⑤現在のところに住むことになったきっかけ

現在のところに住むことになったきっかけについては、「結婚・離婚」（33.1%）が最も高く、次いで「生まれた時から住んでいる」（20.5%）となっています。

図表－15 現在のところに住むことになったきっかけ [n=740]

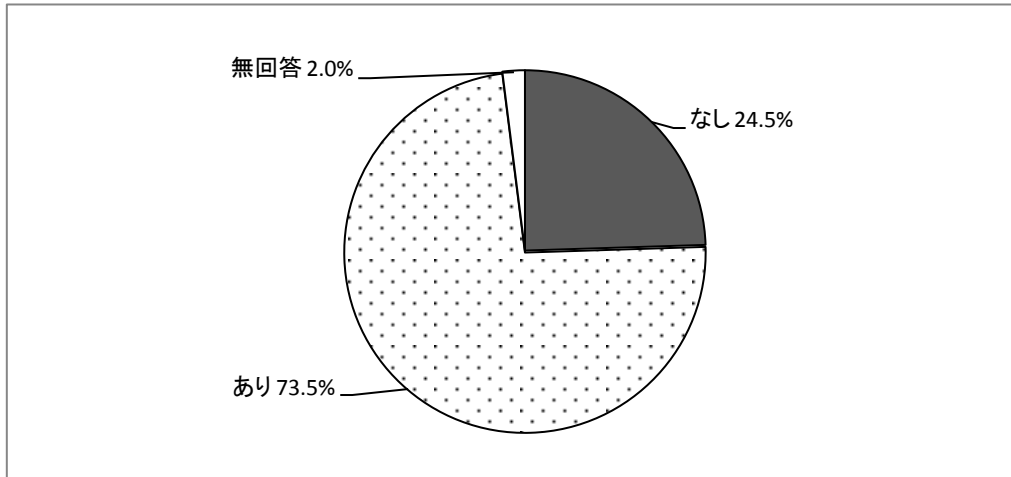


⑥引越し経験の有無(市内での転居を含む)

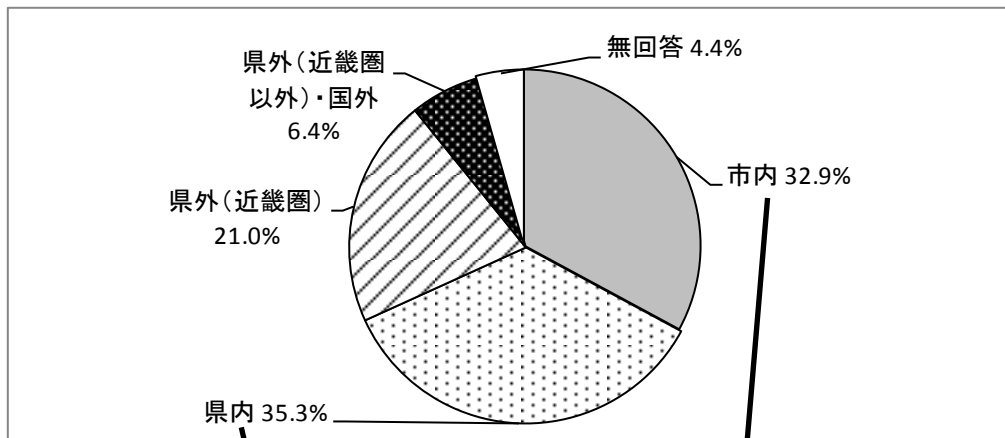
引越し経験(市内での転居を含む)の有無については、「あり」(73.5%)、「なし」(24.5%)となっています。

転居前の居住地区については、「県内」(35.3%)が最も高く、次いで「市内」(32.9%)となっています。内訳として、県内では「奈良市」、「桜井市」が最も多く、次いで「大和高田市」となっています。また、市内では「白檀町」が最も多く、次いで「石原田町」となっています。

図表-16 引越し経験の有無 [n=740]



図表-17 どこから転居してきたか [n=544]



主な県内の内訳

|         |    |
|---------|----|
| 奈良市     | 29 |
| 桜井市     | 29 |
| 大和高田市   | 19 |
| 香芝市     | 13 |
| 大和郡山市   | 13 |
| 天理市     | 11 |
| 磯城郡田原本町 | 11 |

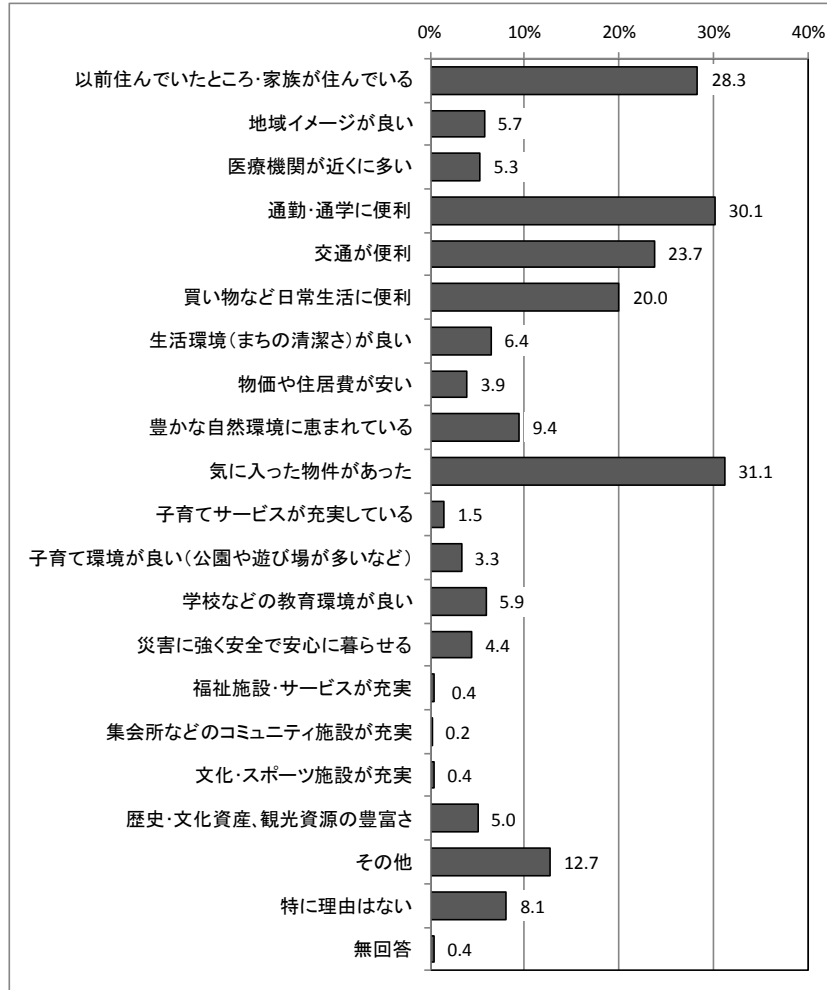
主な市内の内訳

|      |   |
|------|---|
| 白檀町  | 7 |
| 石原田町 | 6 |
| 内膳町  | 5 |
| 中曾司町 | 5 |
| 曾我町  | 5 |
| 新賀町  | 4 |
| 新口町  | 4 |
| 西池尻町 | 4 |

⑦引越しの際に現在の居住地を選んだ理由

引越しの際に現在の居住地を選んだ理由については、「気に入った物件があった」(31.1%)が最も高く、次いで「通勤・通学に便利」(30.1%)となっています。

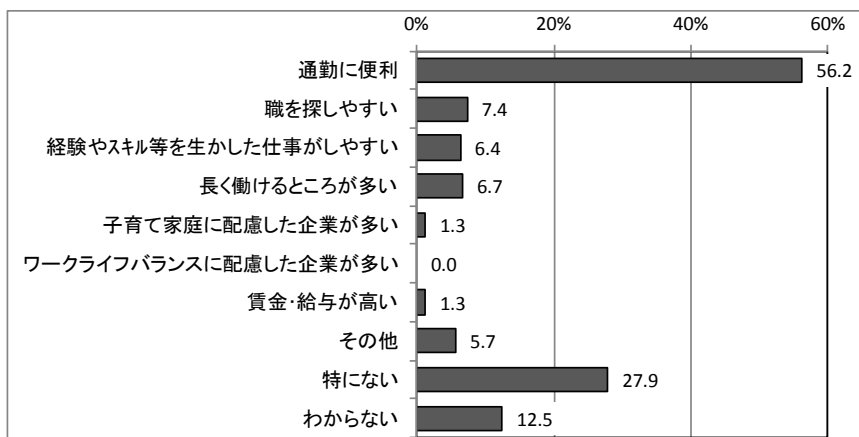
図表－18 引越しの際に現在の居住地を選んだ理由(複数回答) [n=544]



⑧就業先としての魅力

就業先としての魅力については、本市で就業されている方やされてきた方の評価は、「通勤に便利」(56.2%)が最も高く、次いで「特にない」(27.9%)となっています。

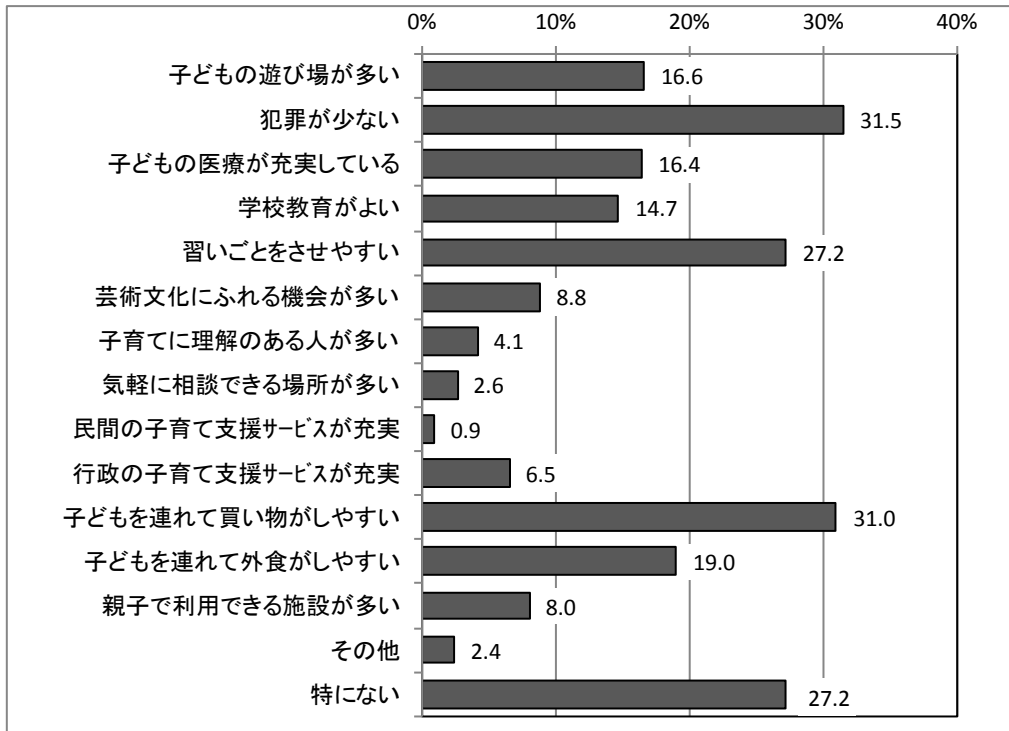
図表－19 就業先としての魅力(複数回答) [n=297(無回答を除く)]



### ⑨子育てにおける魅力

子育てにおける魅力について、本市で子育てされている方やされてきた方の評価は、「犯罪が少ない」(31.5%)が最も高く、次いで「子どもを連れて買い物がしやすい」(31.0%)となっています。

図表-20 子育てにおける魅力(複数回答) [n=464(無回答を除く)]

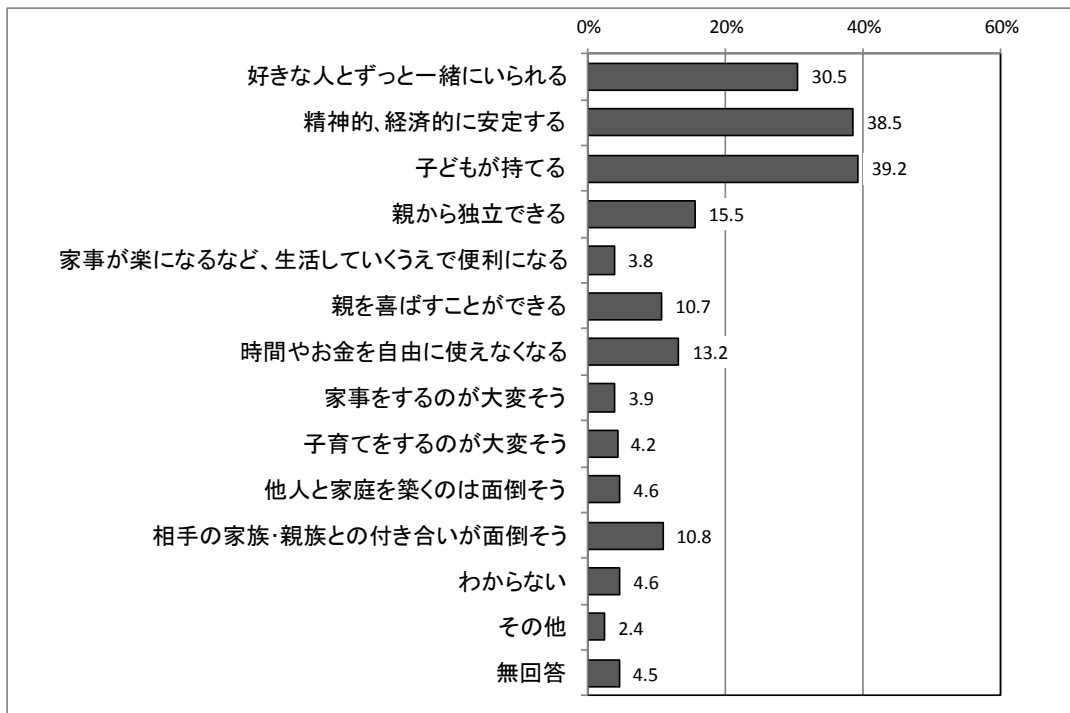


### (3) 結婚観について

#### ①結婚に対するイメージ

結婚に対するイメージについては、「子どもが持てる」(39.2%)が最も高く、次いで「精神的、経済的に安定する」(38.5%)となっています。

図表-21 結婚に対するイメージ(複数回答) [n=740]

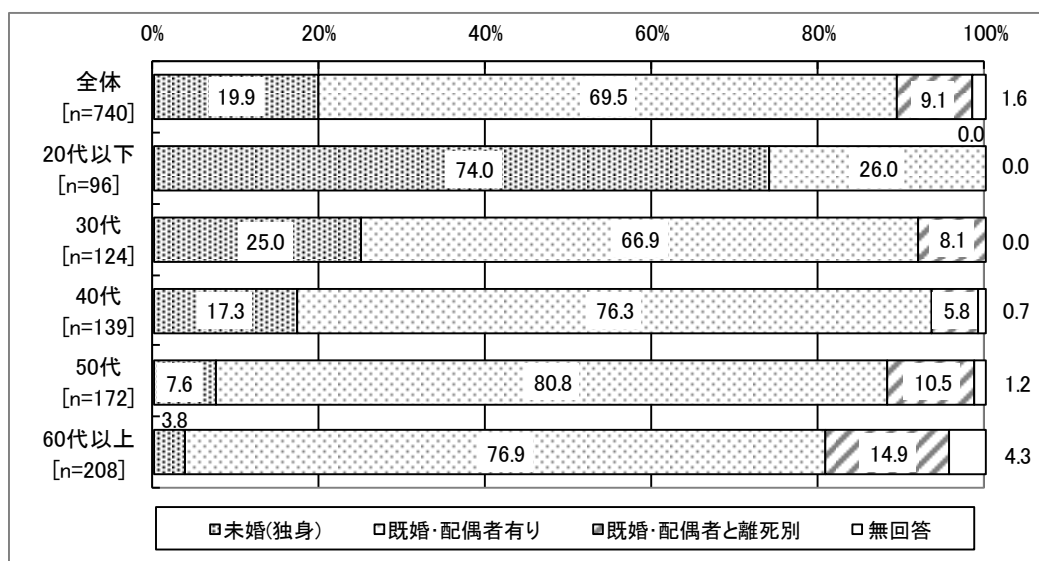


#### ②配偶者の有無

配偶者の有無については、「既婚・配偶者有り」(69.5%)が最も高く、次いで「未婚(独身)」(19.9%)、「既婚・配偶者と離死別」(9.1%)となっています。

年代別にみると、「20代以下」は「未婚(独身)」(74.0%)が高くなっていますが、年齢が上がるにつれ「既婚・配偶者有り」が高くなっています。

図表-22 配偶者の有無





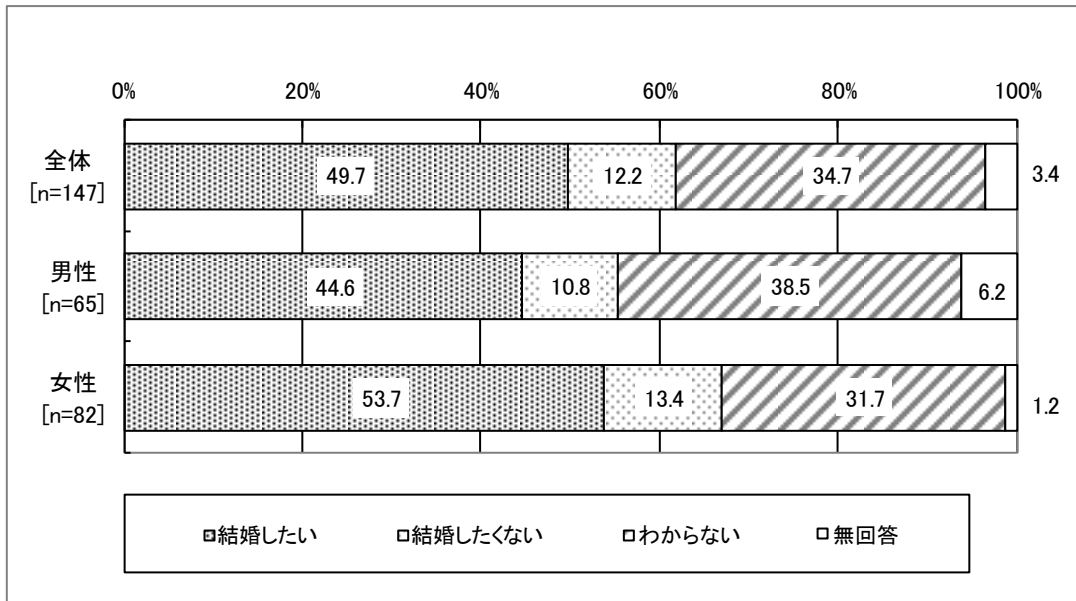
### ③未婚(独身)者の結婚観

「未婚(独身)」と回答した人における、結婚観については、「結婚したい」(49.7%)が最も高く、次いで「わからない」(34.7%)、「結婚したくない」(12.2%)となっています。

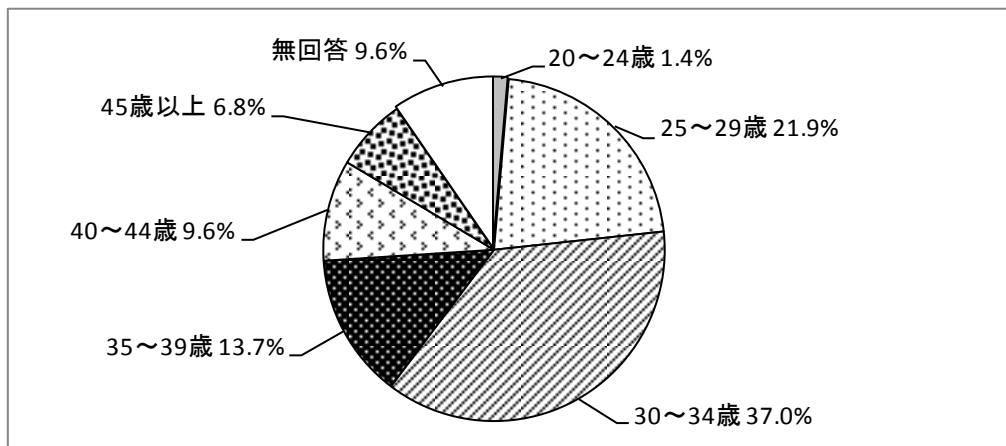
男女別にみると、男性より女性の方が「結婚したい」が9.1ポイント高くなっています。

また、「結婚したい」と回答した人における、結婚したい年齢については、「30～34歳」(37.0%)が最も高く、次いで「25～29歳」(21.9%)となっています。

図表-23 未婚(独身)者の結婚観



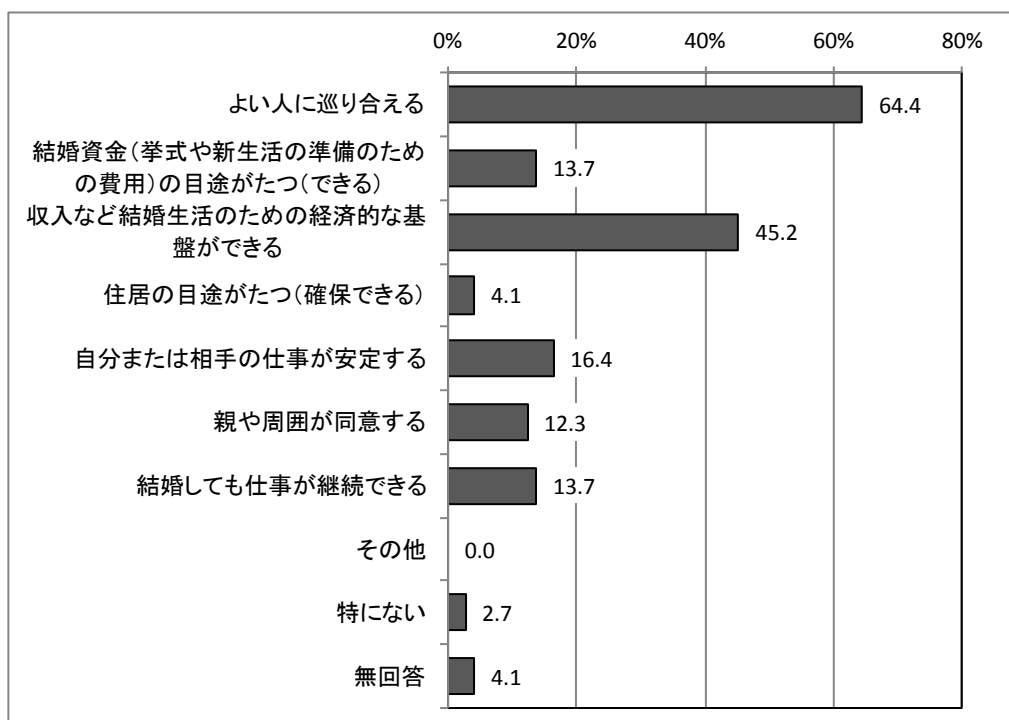
図表-24 結婚したい年齢 [n=73]



#### ④結婚するための条件

「結婚したい」と回答した人における、結婚するための条件については、「よい人に巡り合える」(64.4%)が最も高く、次いで「収入など結婚生活のための経済的な基盤ができる」(45.2%)となっています。

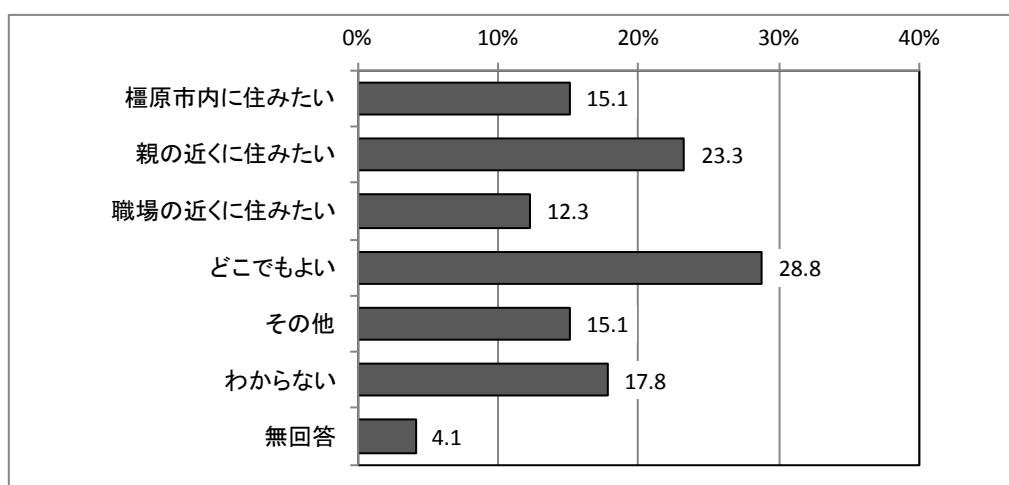
図表－25 結婚するための条件(複数回答) [n=73]



#### ⑤結婚する場合の住みたい場所

「結婚したい」と回答した人における、結婚する場合に住みたい場所については、「どこでもよい」(28.8%)が最も高く、次いで「親の近くに住みたい」(23.3%)となっています。

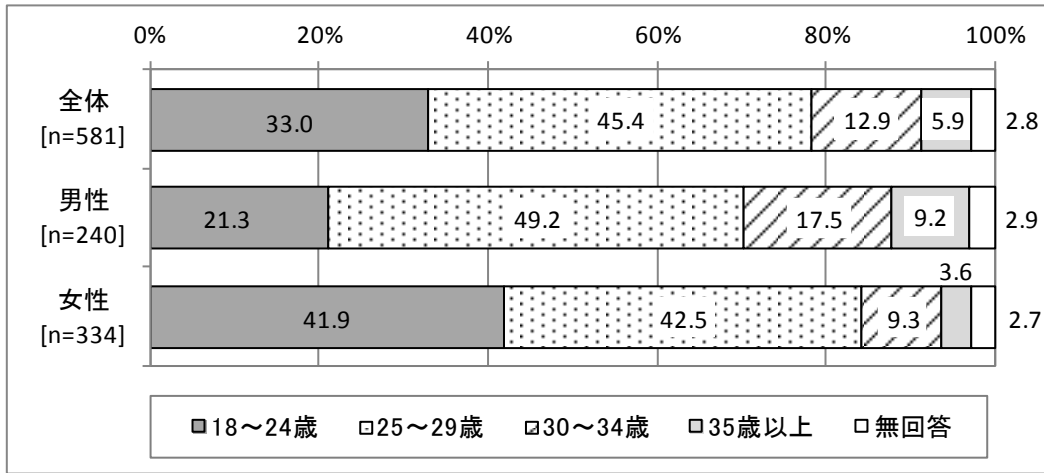
図表－26 結婚する場合の住みたい場所(複数回答) [n=73]



⑥初婚の年齢

「既婚」と回答した人における、初婚年齢については、「25～29歳」(45.4%) が最も高く、次いで「18～24歳」(33.0%) となっています。平均では26.7歳となっています。

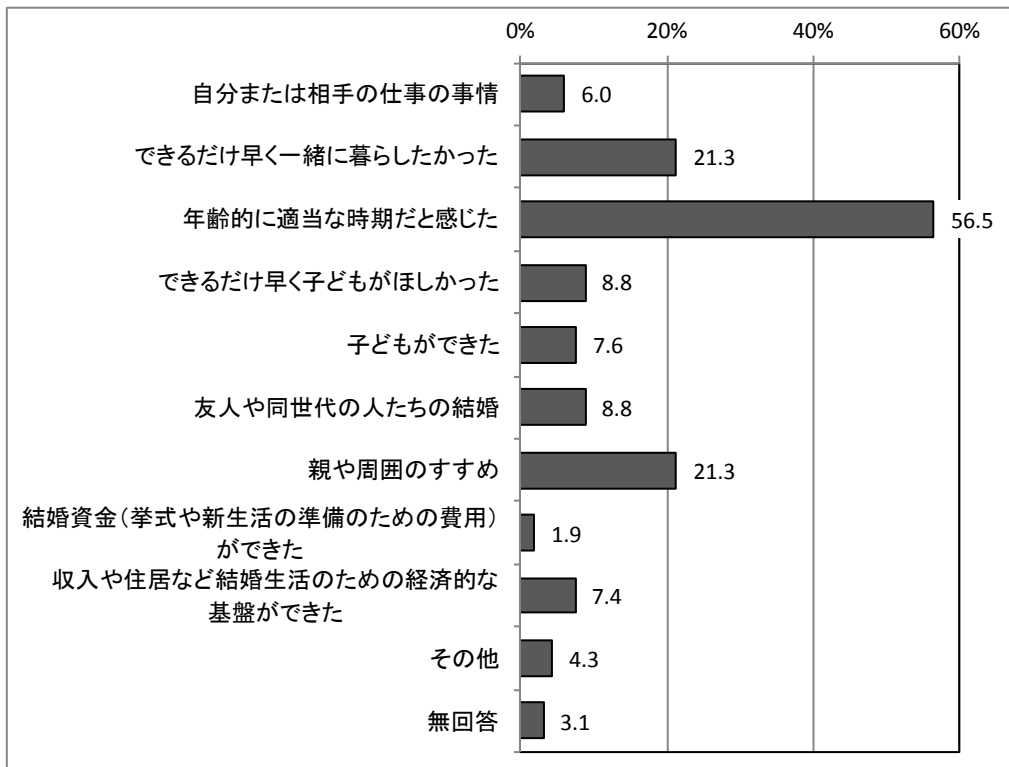
図表-27 初婚の年齢



⑦結婚を決めた直接的なきっかけ

「既婚」と回答した人における、結婚を決めた直接的なきっかけについては、「年齢的に適当な時期だと感じた」(56.5%) が最も高く、次いで「できるだけ早く一緒に暮らしたかった」、「親や周囲のすすめ」(ともに21.3%) となっています。

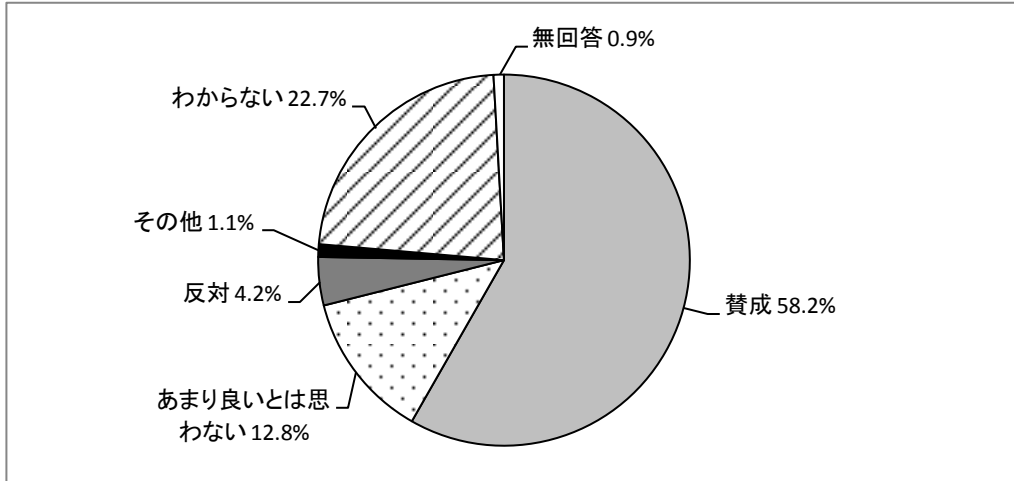
図表-28 結婚を決めた直接的なきっかけ(複数回答) [n=581]



⑧行政が行う婚活支援等に対する考え

行政が行う婚活支援等に対する考えについては、「賛成」(58.2%)が最も高く、次いで「あまり良いとは思わない」(12.8%)、「反対」(4.2%)となっています。

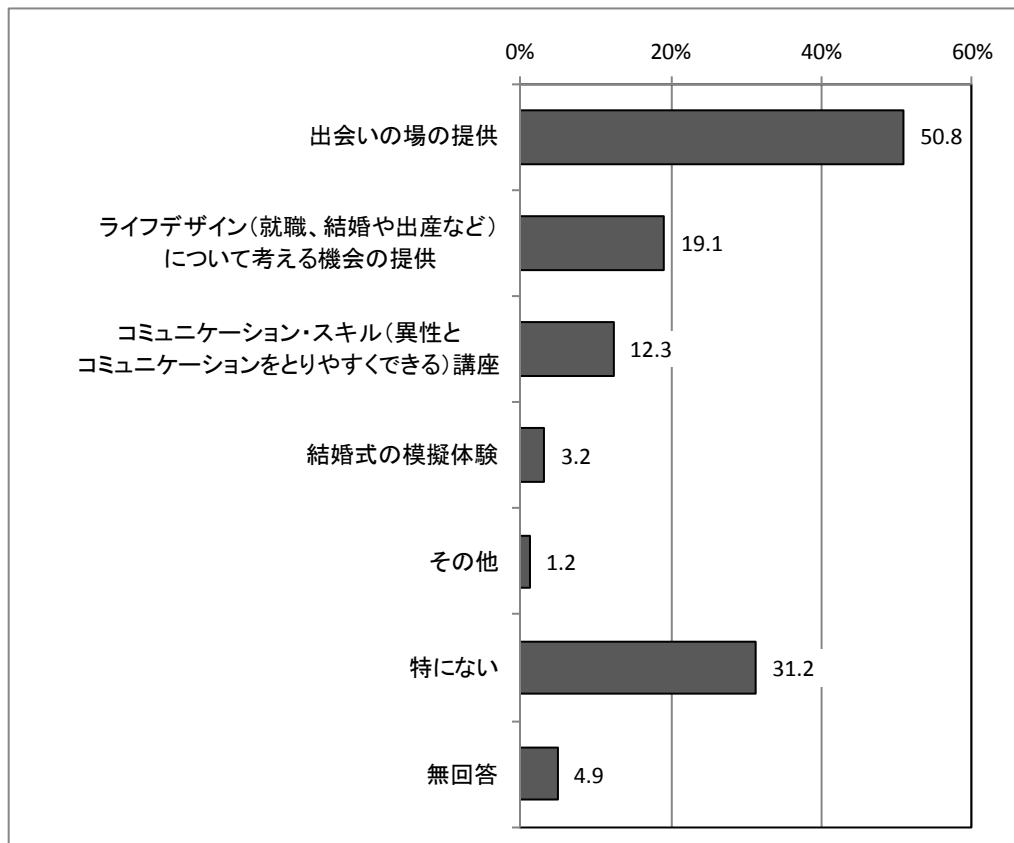
図表-29 行政が行う婚活支援等に対する考え [n=740]



⑨行政が行う婚活支援等で参加したいもの

行政が行う婚活支援等で参加したいものについては、「出会いの場の提供」(50.8%)が最も高く、次いで「特にない」(31.2%)となっています。

図表-30 行政が行う婚活支援等で参加したいもの(複数回答) [n=740]



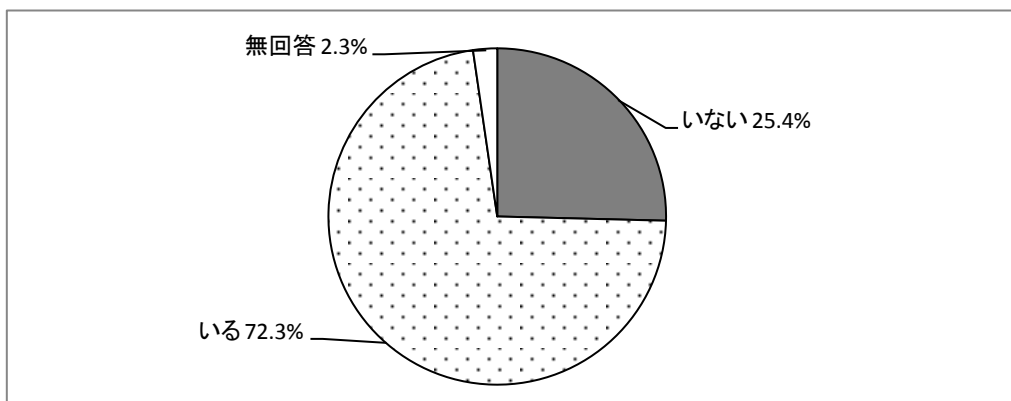
#### (4) 子育て観について

##### ① 子どもの有無

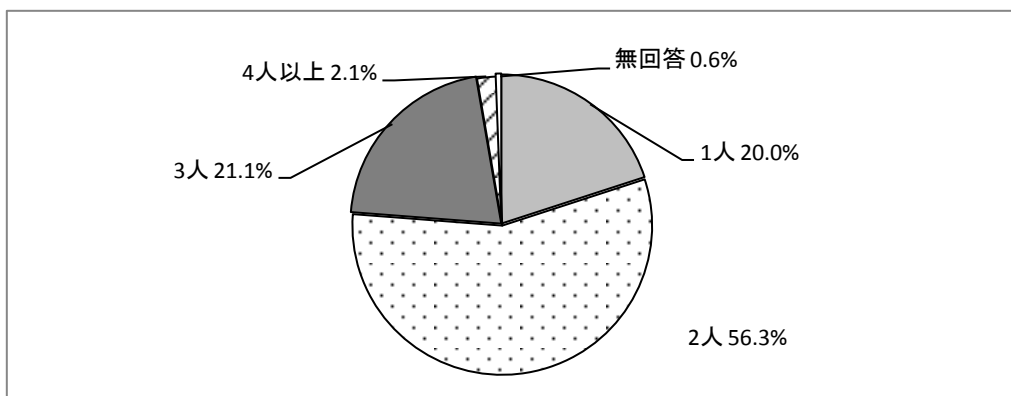
子どもの有無については、「いる」(72.3%)、「いない」(25.4%) となっています。

子どもの人数については、「2人」(56.3%)が最も高く、次いで「3人」(21.1%) となっており、平均では2.05人となっています。

図表-31 子どもの有無 [n=740]



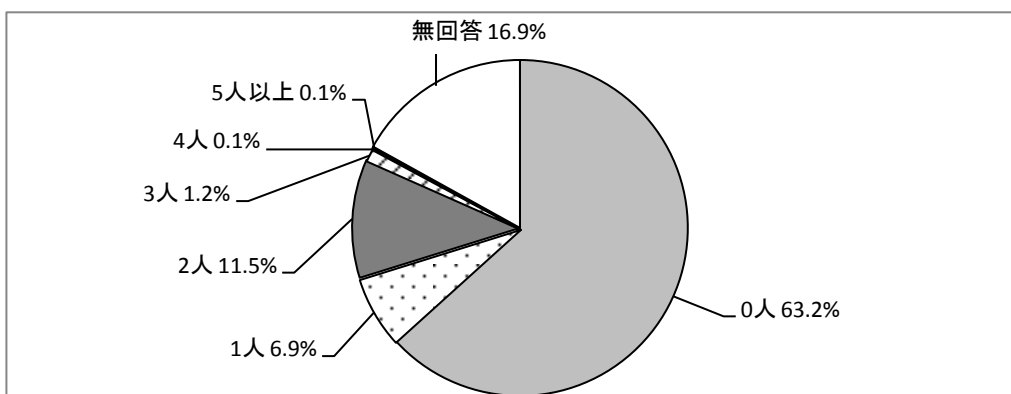
図表-32 子どもの人数 [n=535]



##### ② 今後さらに欲しいと考えている子どもの人数

今後さらに欲しいと考えている子どもの人数については、「0人」(63.2%) が最も高く、次いで「2人」(11.5%) となっています。

図表-33 今後さらに欲しいと考えている子どもの人数 [n=740]

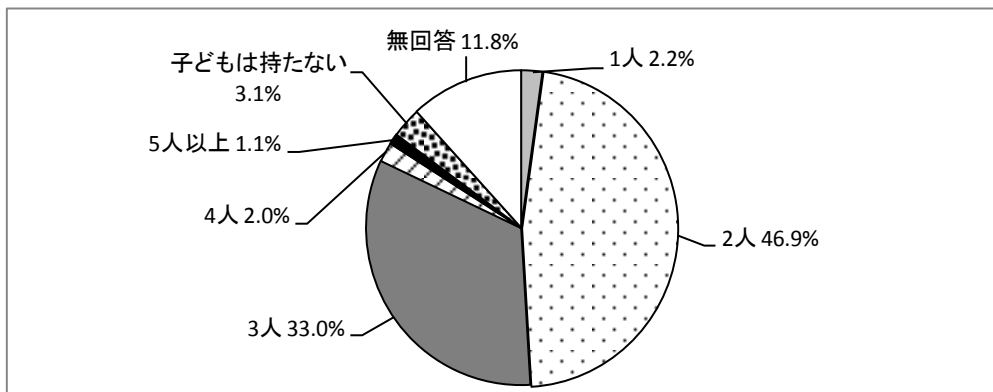


### ③理想または希望する子どもの人数

理想または希望する子どもの人数については、「2人」(46.9%)が最も高く、次いで「3人」(33.0%)となっており、平均では2.36人となっています。

年代別にみると、「50代以下」は「2人」が、「60代以上」は「3人」が最も高くなっています。

図表-34 理想または希望する子どもの人数 [n=740]



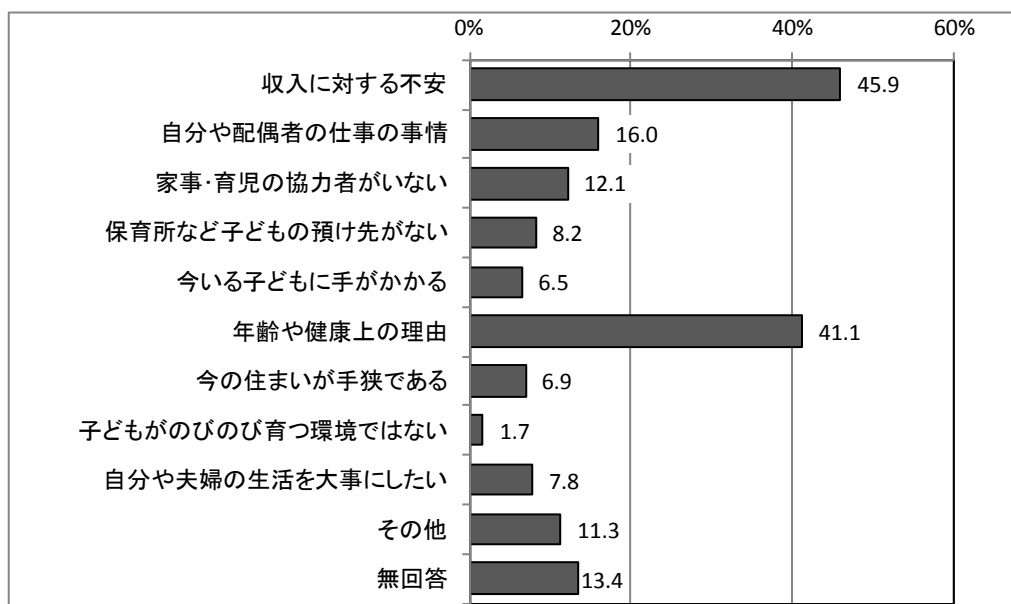
図表-35 年代別 理想または希望する子どもの人数 [n=740]

|       | (n) | 理想または希望する子どもの人数 (%) |      |      |     |      |          |      |
|-------|-----|---------------------|------|------|-----|------|----------|------|
|       |     | 1人                  | 2人   | 3人   | 4人  | 5人以上 | 子どもは持たない | 無回答  |
| 20代以下 | 96  | 2.1                 | 60.4 | 18.8 | 3.1 | 1.0  | 4.2      | 10.4 |
| 30代   | 124 | 4.0                 | 51.6 | 32.3 | 1.6 | 0.8  | 4.8      | 4.8  |
| 40代   | 139 | 2.2                 | 51.8 | 31.7 | 3.6 | 1.4  | 2.9      | 6.5  |
| 50代   | 172 | 2.3                 | 50.6 | 37.8 | 1.7 | 1.2  | 2.3      | 4.1  |
| 60代以上 | 208 | 1.0                 | 31.7 | 36.5 | 1.0 | 1.0  | 2.4      | 26.4 |

### ④現実的に欲しい子どもの数が理想的とする子どもの数より少ない原因

「現在の子ども数」に「今後、さらに欲しいと考えている子ども数」を加えた数が、理想的とする子どもの数より少ない人のその原因については、「収入に対する不安」(45.9%)が最も高く、次いで「年齢や健康上の理由」(41.1%)となっています。

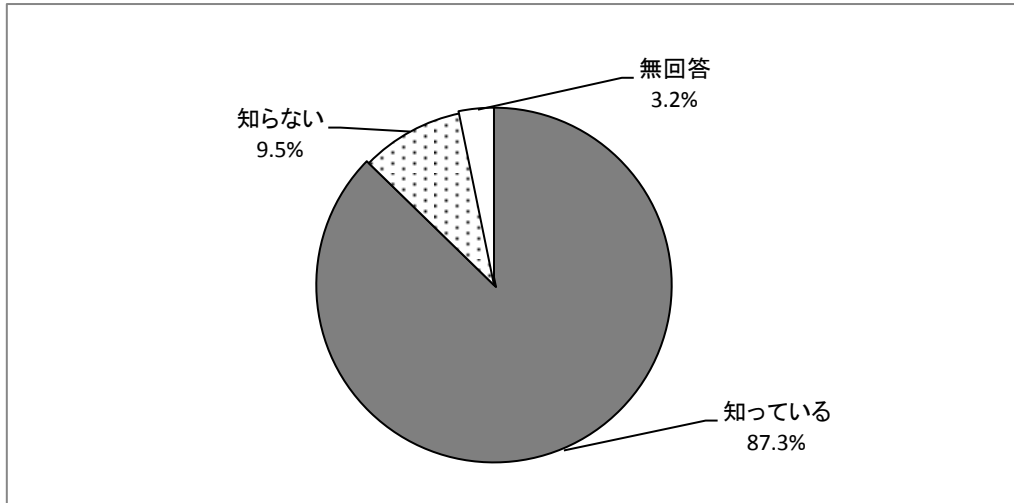
図表-36 現実的に欲しい子どもの数が理想的とする子どもの数より少ない原因(複数回答)[n=147]



⑤不妊のリスクに関する知識

「女性の年齢が高くなるほど、妊娠に伴うリスクが高くなる傾向があったり、不妊治療を行ったとしても出産に至る確率が下がること」を知っているかについては、「知っている」(87.3%)、「知らない」(9.5%)となっています。

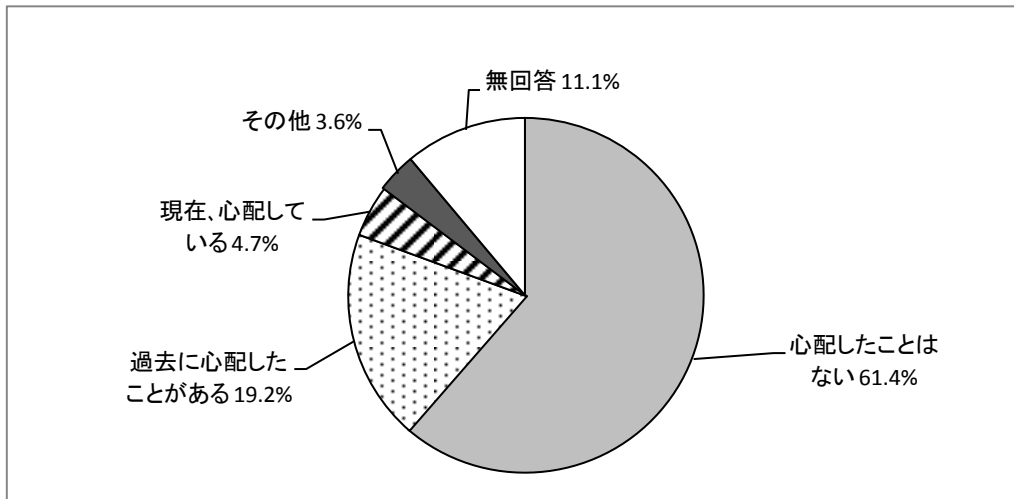
図表-37 不妊のリスクに関する知識 [n=740]



⑥不妊の不安や悩みの有無

不妊の不安や悩みの有無については、「心配したことはない」(61.4%)が最も高く、次いで「過去に心配したことがある」(19.2%)、「現在、心配している」(4.7%)となっています。

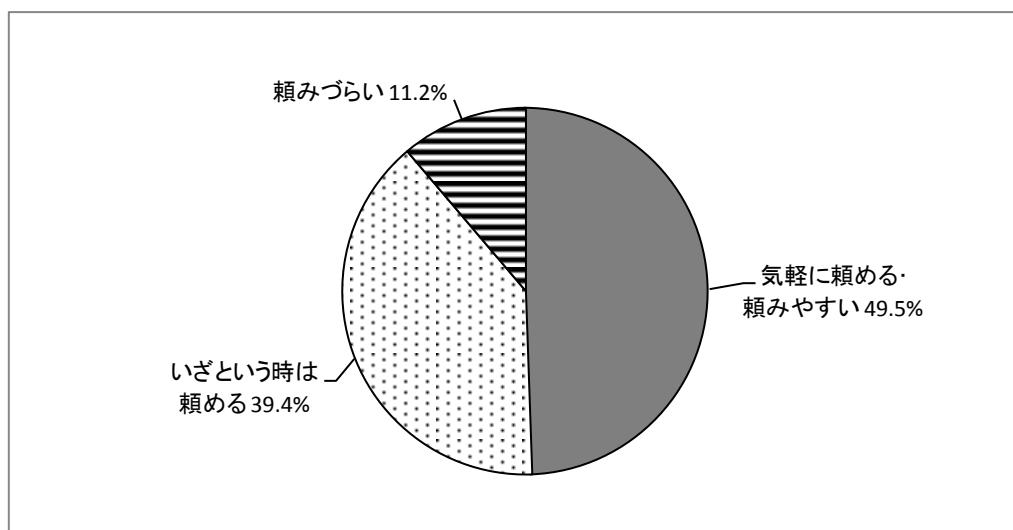
図表-38 不妊の不安や悩みの有無 [n=740]



⑦子育てへの親や親族サポートの状況

現在、小学生までの子どもを育てている人の、子育ての手助けを本人や配偶者の親や親族にお願いすることができるかについては、「気軽に頼める・頼みやすい」(48.1%)が最も高く、次いで「いざという時は頼める」(34.0%)、「頼みづらい」(8.6%)となっています。

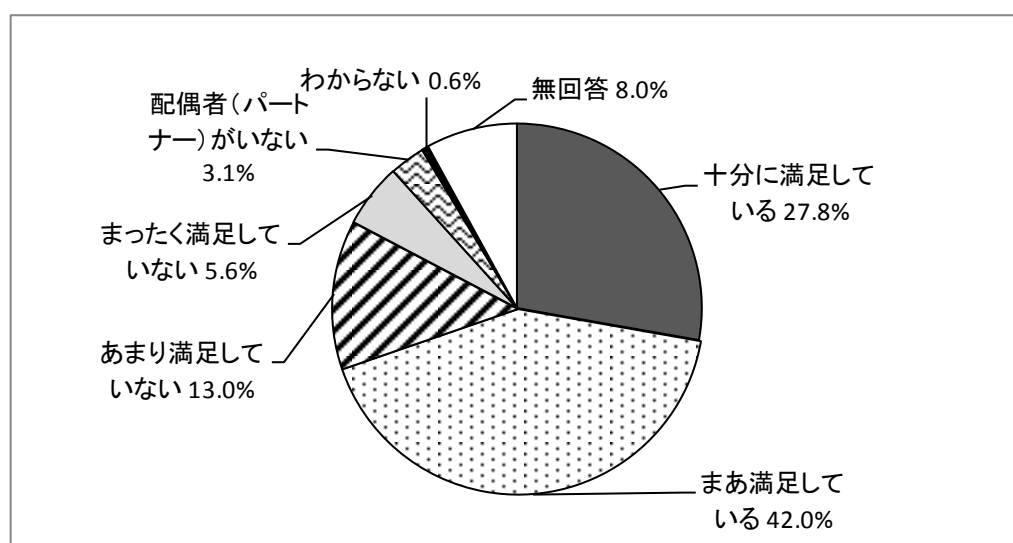
図表-39 子育てへの親や親族サポートの状況 [n=162]



⑧配偶者(パートナー)の家事や育児への関わり方への満足度

現在、小学生までの子どもを育てている人の、配偶者(パートナー)の家事や育児への関わり方への満足度については、「満足している(『十分に満足している』と『まあ満足している』の合計)」(69.8%)、「満足していない(『あまり満足していない』と『まったく満足していない』の合計)」(18.6%)となっています。

図表-40 配偶者(パートナー)の家事や育児への関わり方への満足度 [n=162]





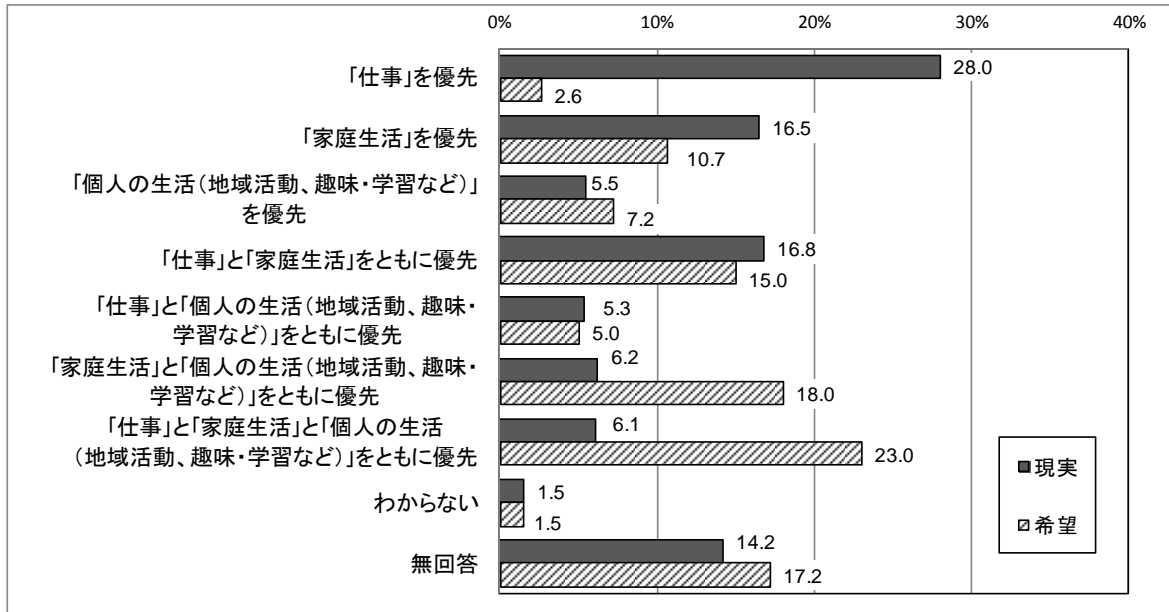
(5) 仕事、家庭生活、個人の生活（地域活動、趣味・学習など）の現実と希望の優先度について

仕事、家庭生活、個人の生活（地域活動、趣味・学習など）の現実と希望の優先度については、現実では、「『仕事』を優先」（28.0%）が最も高く、次いで「『仕事』と『家庭生活』をとともに優先」（16.8%）、「『家庭生活』を優先」（16.5%）となっています。

また、希望では「『仕事』と『家庭生活』と『個人の生活（地域活動、趣味・学習など）』をとともに優先」（23.0%）が最も高く、次いで「『家庭生活』と『個人の生活（地域活動、趣味・学習など）』をとともに優先」（18.0%）、「『仕事』と『家庭生活』をとともに優先」（15.0%）となっています。

現実の優先度別に希望の優先度をみると、現実と希望が異なっている人の割合が高くなっています。特に「現実」も「希望」も「『仕事』を優先」とする人は3.4%となっています。

図表-41 仕事、家庭生活、個人の生活（地域活動、趣味・学習など）の現実と希望の優先度 [n=740]



図表-42 現実の優先度別 仕事、家庭生活、個人の生活（地域活動、趣味・学習など）の現実と希望の優先度 [n=740]

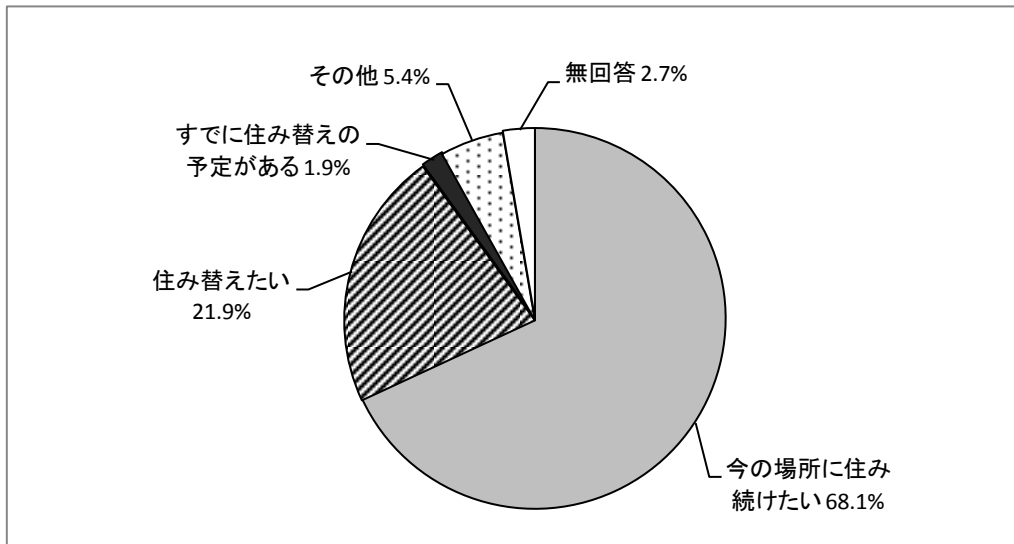
| 現実 (%) | 優先度                        | 合計 (n) | 希望 (%)  |           |            |                    |                     |                       |                            |       |      |
|--------|----------------------------|--------|---------|-----------|------------|--------------------|---------------------|-----------------------|----------------------------|-------|------|
|        |                            |        | 「仕事」を優先 | 「家庭生活」を優先 | 「個人の生活」を優先 | 「仕事」と「家庭生活」をとともに優先 | 「仕事」と「個人の生活」をとともに優先 | 「家庭生活」と「個人の生活」をとともに優先 | 「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」をとともに優先 | わからない | 無回答  |
|        | 「仕事」を優先                    | 207    | 3.4     | 16.9      | 8.7        | 24.6               | 10.6                | 11.1                  | 22.7                       | 1.4   | 0.5  |
|        | 「家庭生活」を優先                  | 122    | 3.3     | 21.3      | 7.4        | 14.8               | 0.8                 | 31.1                  | 16.4                       | 2.5   | 2.5  |
|        | 「個人の生活」を優先                 | 41     | 2.4     | 4.9       | 36.6       | 2.4                | 7.3                 | 14.6                  | 14.6                       | 2.4   | 14.6 |
|        | 「仕事」と「家庭生活」をとともに優先         | 124    | 2.4     | 8.9       | 2.4        | 25.0               | 2.4                 | 14.5                  | 42.7                       | 0.0   | 1.6  |
|        | 「仕事」と「個人の生活」をとともに優先        | 39     | 0.0     | 5.1       | 10.3       | 10.3               | 17.9                | 17.9                  | 35.9                       | 0.0   | 2.6  |
|        | 「家庭生活」と「個人の生活」をとともに優先      | 46     | 6.5     | 0.0       | 4.3        | 2.2                | 0.0                 | 56.5                  | 15.2                       | 2.2   | 13.0 |
|        | 「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」をとともに優先 | 45     | 2.2     | 6.7       | 2.2        | 6.7                | 0.0                 | 26.7                  | 44.4                       | 0.0   | 11.1 |
|        | わからない                      | 11     | 0.0     | 0.0       | 9.1        | 9.1                | 9.1                 | 9.1                   | 27.3                       | 27.3  | 9.1  |

## (6) 今後の榎原市での居住意向について

### ① 今後の居住意向

今後の居住意向については、「今の場所に住み続けたい」（68.1%）が最も高く、次いで「住み替えたい」（21.9%）、「すでに住み替えの予定がある」（1.9%）となっています。

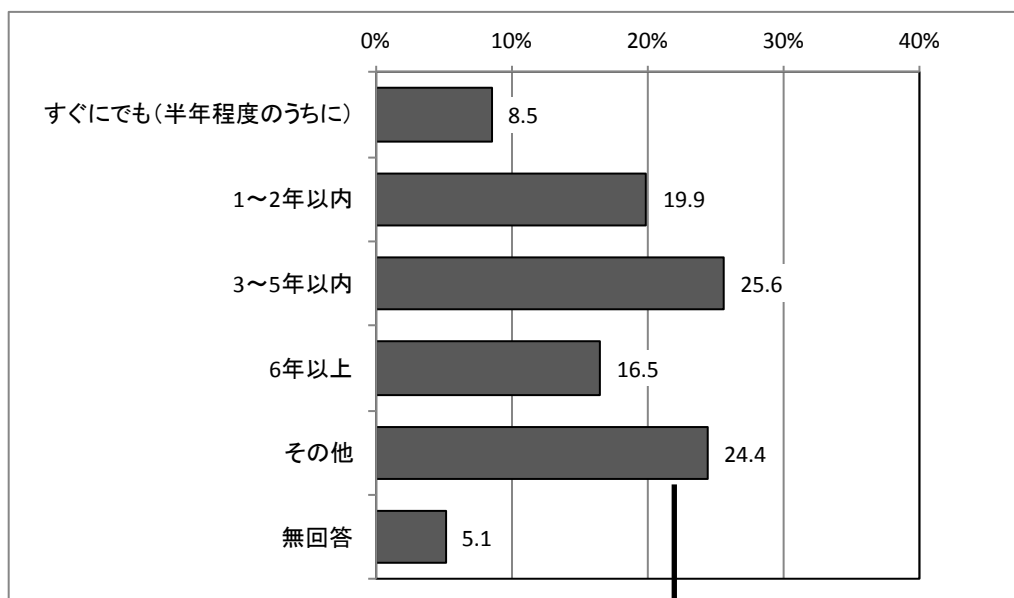
図表－43 今後の居住意向 [n=740]



### ② 住み替えの時期

「住み替えたい」と「すでに住み替えの予定がある」と回答した人における、住み替えの時期については、「3～5年以内」（25.6%）が最も高く、次いで「1～2年以内」（19.9%）となっています。

図表－44 住み替えの時期 [n=176]



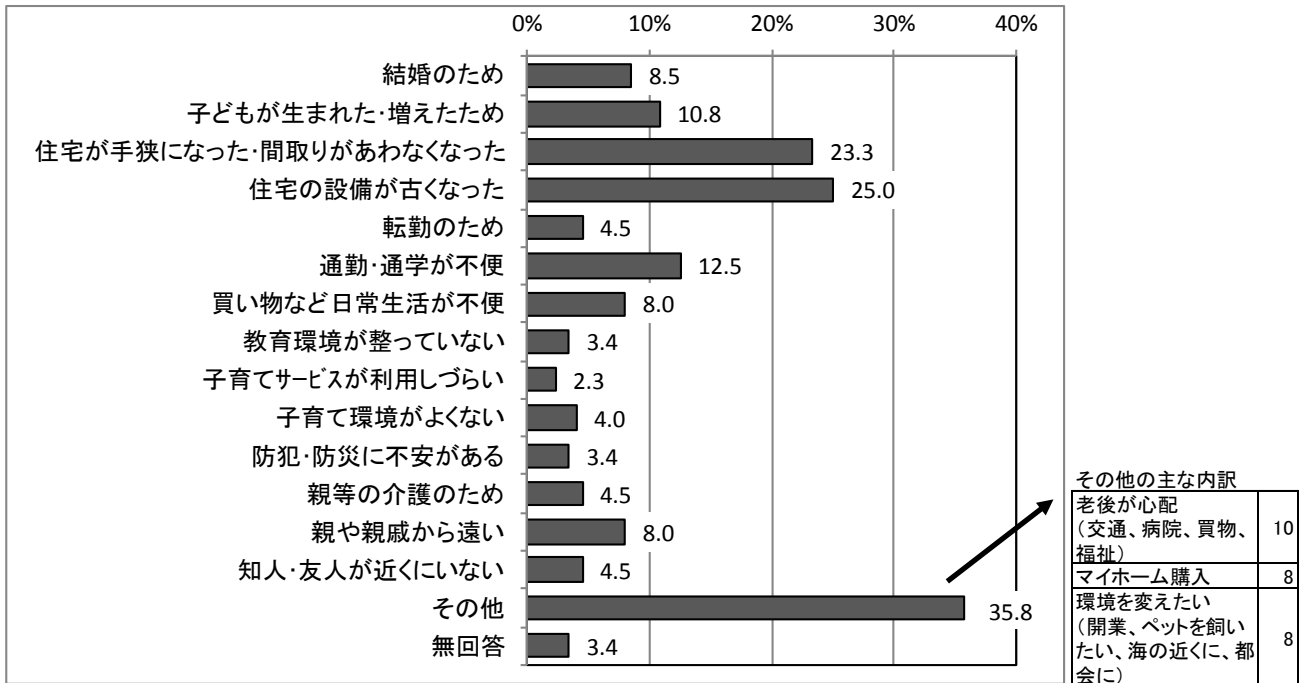
#### その他の主な内訳

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| 未定、分からない                         | 20 |
| 希望はあるが経済的に難しい                    | 7  |
| きっかけがあれば(夫婦2人になる、夫の死後、子どもの進学、結婚) | 5  |

### ③ 住み替えの理由

「住み替えたい」と「すでに住み替えの予定がある」と回答した人における、住み替えの理由については、「住宅の設備が古くなった」(25.0%)が最も高く、次いで「住宅が手狭になった・間取りがあわなくなった」(23.3%)となっています。

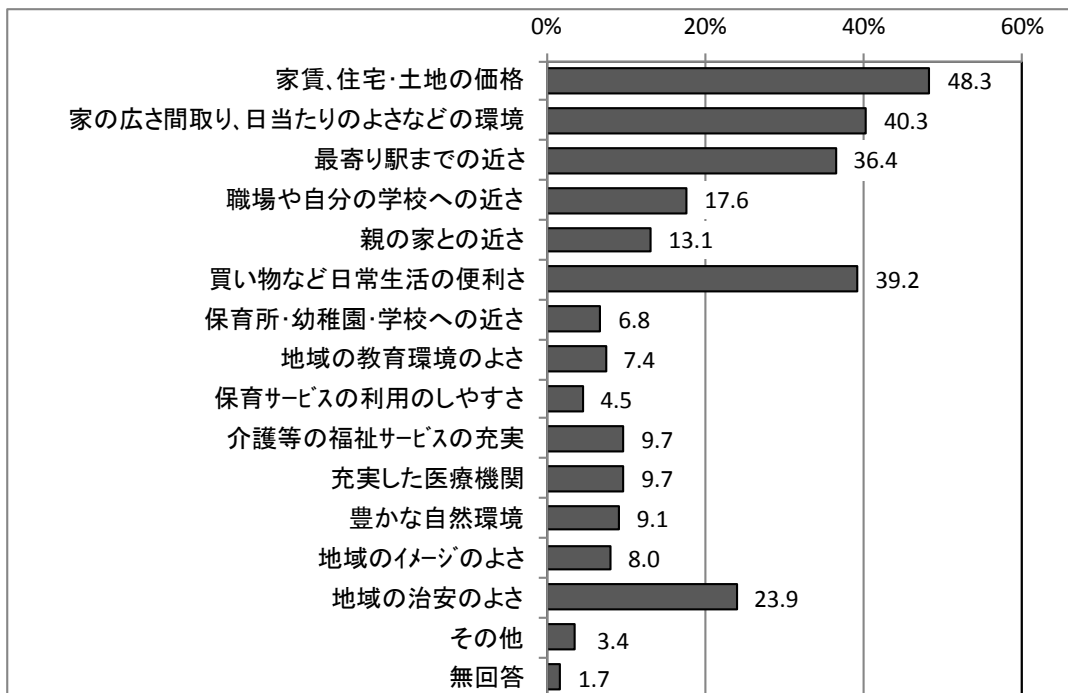
図表-45 住み替えの理由(複数回答) [n=176]



### ④ 住み替えの際に重視すること

住み替えの際に重視することについては、「家賃、住宅・土地の価格」(48.3%)が最も高く、次いで「家の広さ間取り、日当たりのよさなどの環境」(40.3%)となっています。

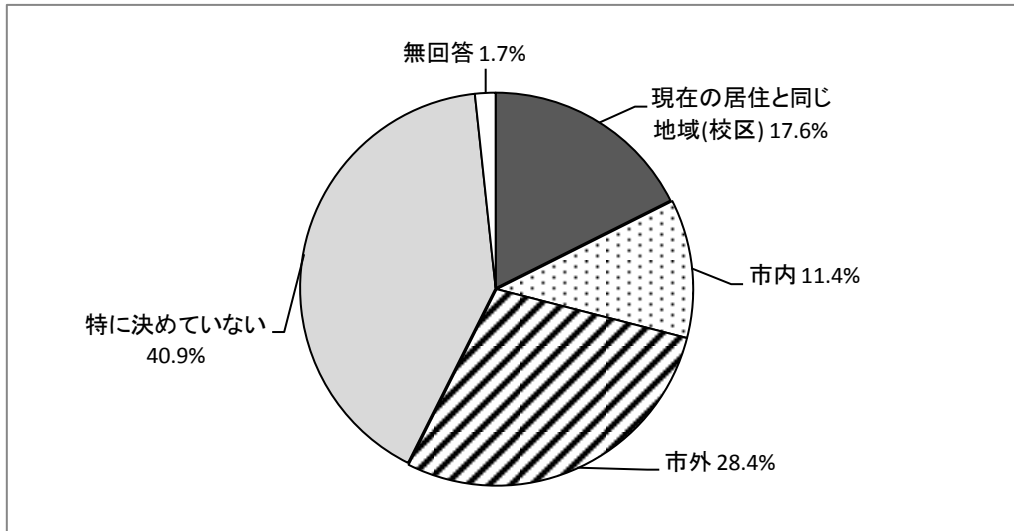
図表-46 住み替えの際に重視すること(複数回答) [n=176]



⑤希望する住み替え先の地域

希望する住み替え先の地域については、「特に決めていない」(40.9%)が最も高く、次いで「市外」(28.4%)となっています。住み替え希望先としては、「奈良市」が最も多くなっています

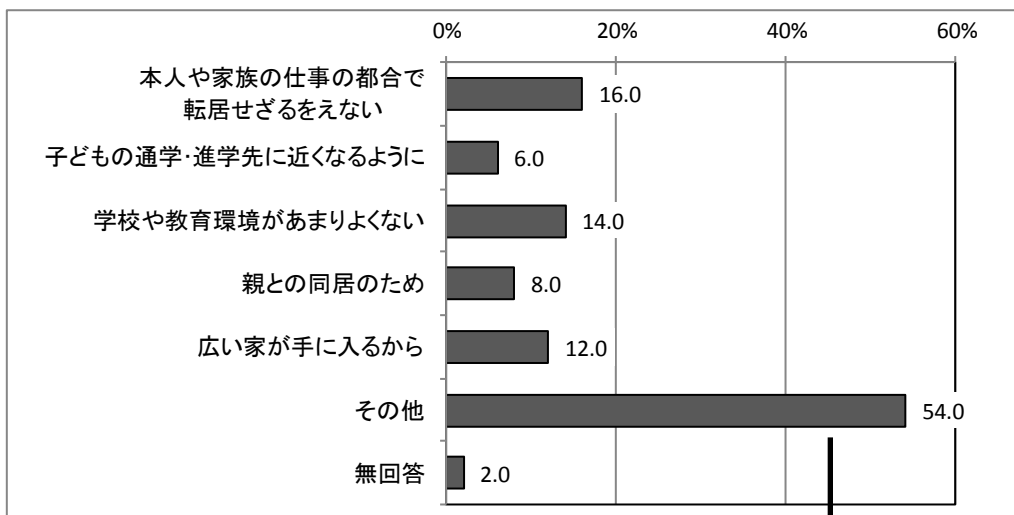
図表-47 希望する住み替え先の地域 [n=176]



⑥住み替え先として市外を希望する理由

希望する住み替え先の地域として市外を希望する人における、その理由については、「本人や家族の仕事の都合で転居せざるをえない」(16.0%)が最も高く、次いで「学校や教育環境があまりよくない」(14.0%)となっています。

図表-48 住み替え先として市外を希望する理由(複数回答) [n=50]



その他の主な内訳

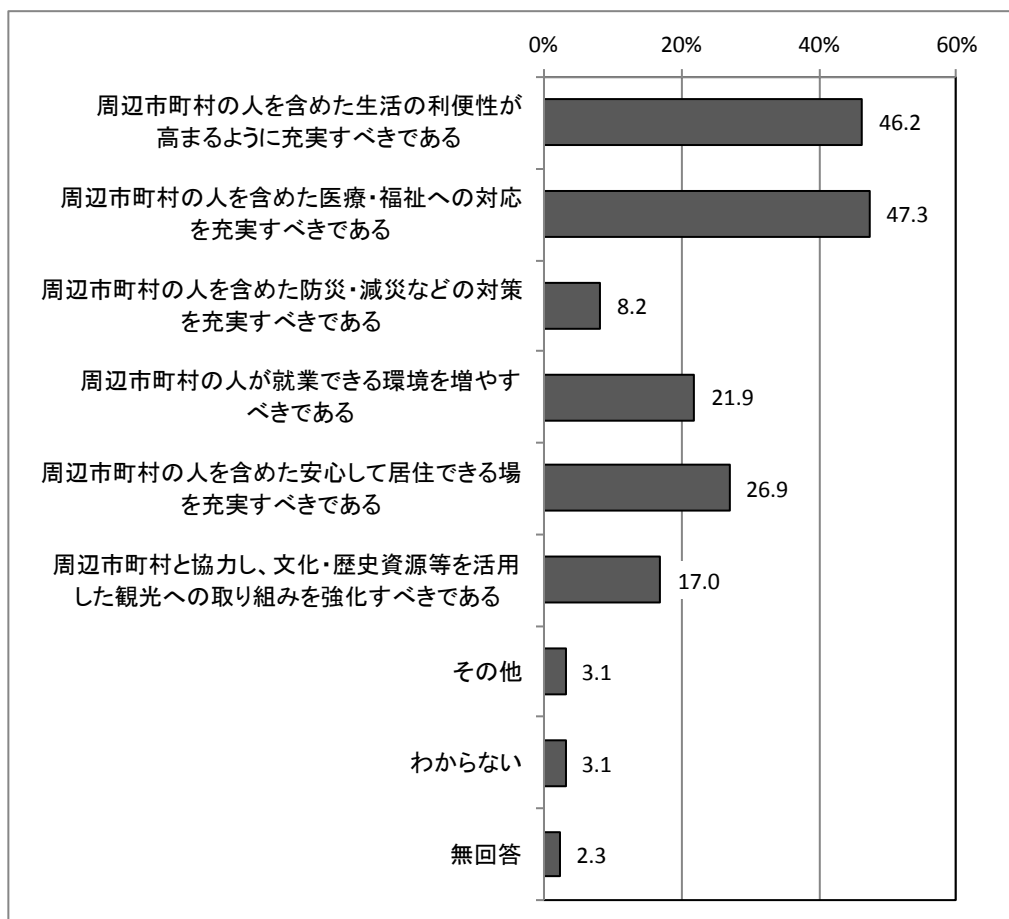
|            |   |
|------------|---|
| 交通の便がよくない  | 3 |
| 実家の近くに住みたい | 3 |

## (7) 今後の中南和の拠点都市における本市のあり方について

### ①中南和の拠点都市における本市のあり方について

中南和の拠点都市としての本市のあり方については、「周辺市町村の人を含めた医療・福祉への対応を充実すべきである」(47.3%)が最も高く、次いで「周辺市町村の人を含めた生活の利便性が高まるように充実すべきである」(46.2%)となっています。

図表－49 中南和の拠点都市における本市のあり方について(複数回答) [n=740]



②橿原市のよいところ(自由回答)

橿原市のよいところ(主な意見)については、全体に対して47.6%の回答がありました。歴史・文化遺産(橿原神宮、藤原宮跡、大和三山)がある、自然環境が良い、静かな環境について多くあげられています。

また、交通や買い物などの生活利便性も多くあげられ、自然と利便性のバランスがとれた住みやすい町として評価されています。その他、自然災害が少ない、治安が良い、医療機関が充実している等があげられています。

図表-50 橿原市の良いところ(主な意見) [回答数 352 件]

|   |  |
|---|--|
| <p>&lt;安心・安全&gt;</p> <p>●自然災害が少ない(36)</p> <p>●治安が良い(24)</p>   |  |
| <p>&lt;福祉・健康&gt;</p> <p>●医療機関が充実(22)</p> <p>・奈良県立医大他大きな病院がある。病院が多い。医療施設の利便性や選択肢が多い。 /等</p> <p>●福祉(2)</p> <p>・福祉サービスが良い、敬老会が毎年ある。市民の福祉に市が配慮している。</p>   |  |
| <p>&lt;子育て・学習&gt;</p> <p>●子育て支援・教育(6)</p> <p>・子育て支援が充実。子育て支援で新しい取り組みをしている。子ども園、学童クラブ等が増えてきた。小学校教育が充実 /等</p>   |  |
| <p>&lt;人と文化のふれあい&gt;</p> <p>●歴史・文化遺産、文化資源がある(131)</p> <p>・橿原神宮、藤原宮跡、今井町、大和三山、千塚古墳、おふさ観音の風鈴祭り、天岩戸、横大路・万葉ホール・文化会館 /等</p>  |  |
| <p>&lt;活力・賑わい&gt;</p> <p>●交通の便が良い(98)</p> <p>・大和八木駅を中心に多方面に出やすい。大阪・京都・奈良市・名古屋・伊勢方面に行きやすい。電車の本数が多い。道路網が充実(京奈和道・中和幹線)。都会(大阪)などと自然豊かな地域(吉野など)がほぼ同じ所要時間で行ける。 /等</p> <p>●ショッピング施設が充実・買い物しやすい(45)</p> <p>・イオンモール橿原(アルル)。近鉄百貨店。スーパーが多い。市の中心に商業施設がまとまっており、買い物しやすい。飲食店が多い。物価が安め。家族や友人と気軽に食事や買い物する場所が多い。 /等</p> <p>●日常生活が便利(6)</p>                |  |
| <p>&lt;快適な生活(環境)&gt;</p> <p>●自然環境が良い(72)</p> <p>・橿原神宮周辺の景観。明日香村に近い。葛城山、三輪山 /等</p> <p>●静か・穏やか・のんびり(15)</p> <p>●自然と利便性のバランス(適度に都会で適度に田舎)が良い(17)</p> <p>●住みやすい(29)</p> <p>・生活環境が良い。利便性があり、静かで落ち着いたところ。店・病院・児童デイサービス・公園・学校が多くて住みやすい。文化・生活面で優れている。町がきれい。坂がなく平坦。ほどほどの近所づきあい。農作物が新鮮でおいしい。水がおいしい。 /等</p> <p>●運動公園・広い公園がある・公園が多い(8) ・総合プール/等</p> |  |
| <p>&lt;行政&gt;</p> <p>・福祉サービスが良い。粗大ごみが出しやすい。市役所の手続きが早い。職員の対応が良い /等</p>   |  |
| <p>&lt;その他&gt;</p> <p>●人が温かい・優しい・のんびり(7)</p> <p>・教養の意識が高い。市民が文武にすぐれ智恵、底力がある。 /等</p>   |  |

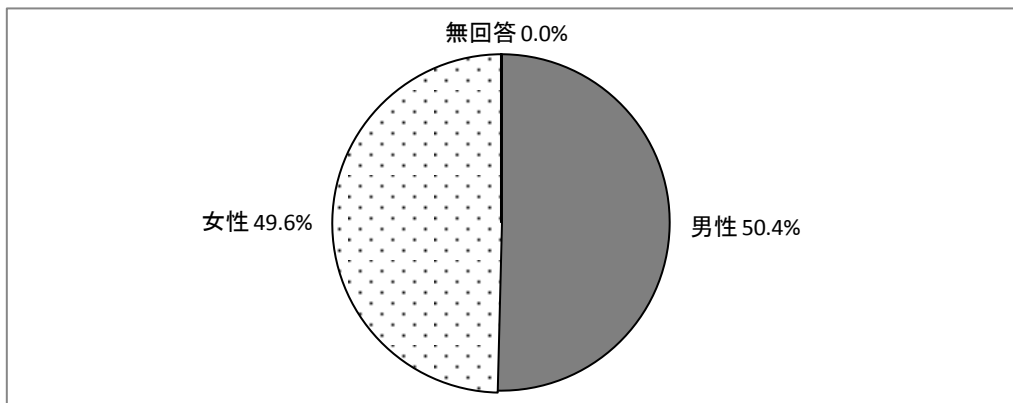
### 3. 転出者アンケート

#### (1) 回答者の属性について

##### ① 性別

性別については、「男性」(50.4%)、「女性」(49.6%)となっています。

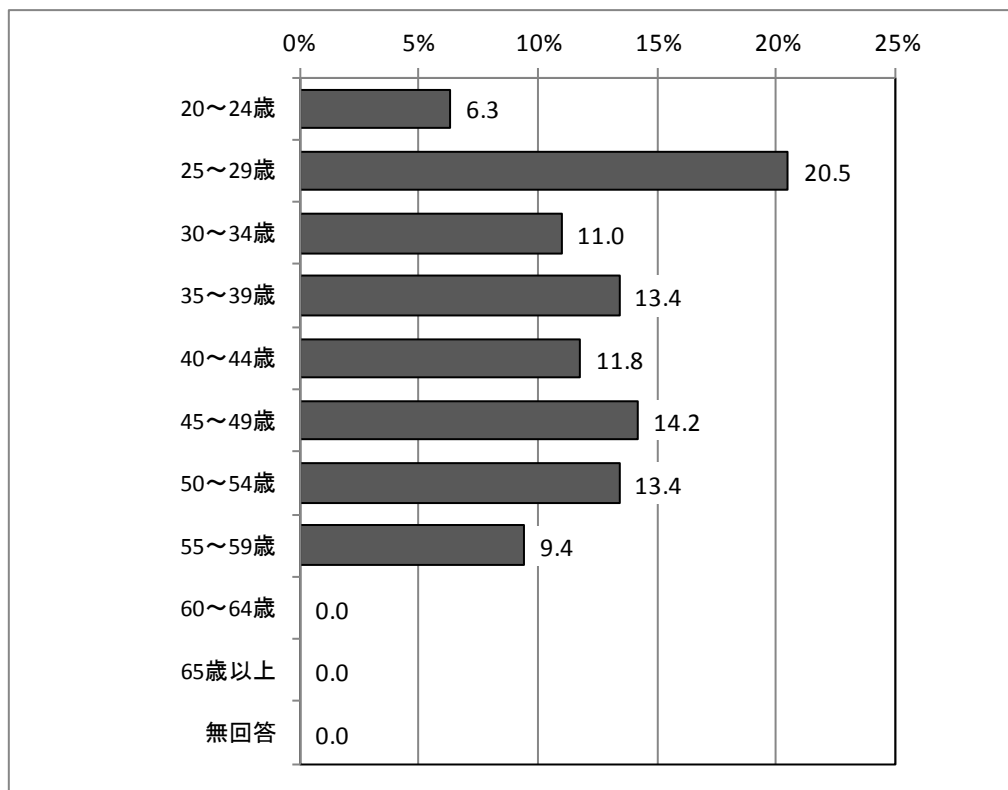
図表-51 性別 [n=127]



##### ② 年齢

年齢については、「25～29歳」(20.5%)が最も高く、次いで「45～49歳」(14.2%)となっています。

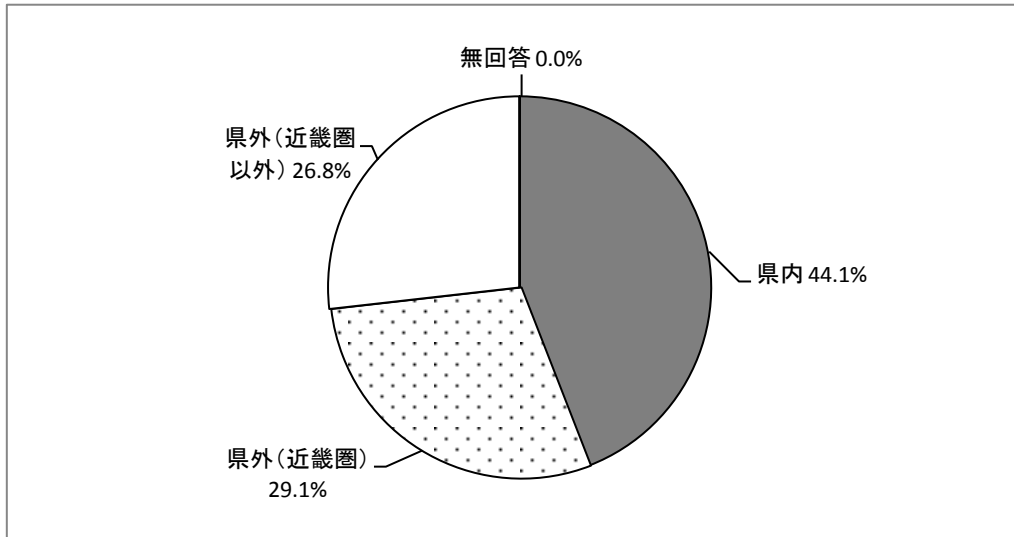
図表-52 年齢 [n=127]



③現在の居住地

転出者の現在の居住地については、「県内」(44.1%)が最も高く、次いで「県外(近畿圏)」(29.1%)、「県外(近畿圏以外)」(26.8%)となっています。

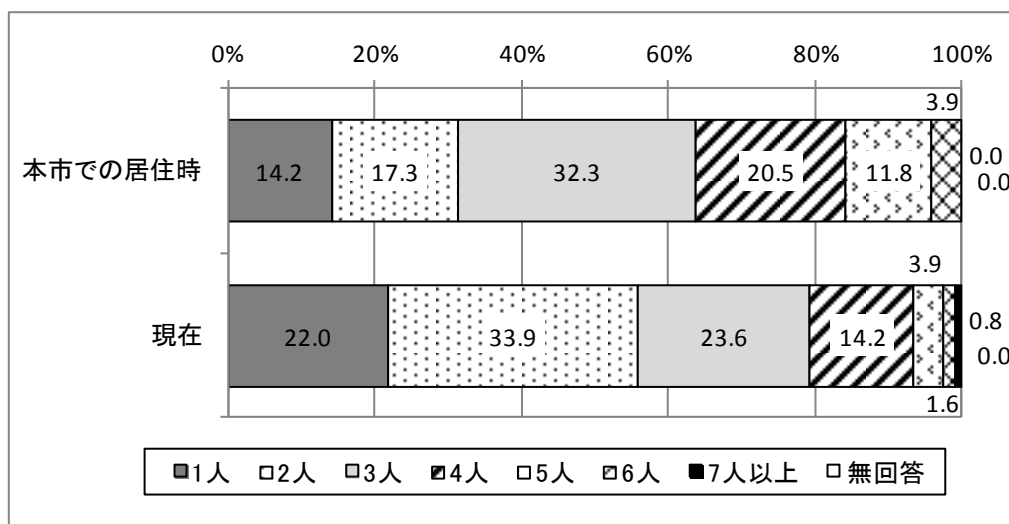
図表-53 転出者の現在の居住地 [n=127]



④同居家族の人数

転居前後の同居家族の人数については、「本市での居住時」は「3人」(32.3%)、「現在」では「2人」(33.9%)が最も高くなっています。

図表-54 転居前後の同居家族の人数(本人含む) [n=127]



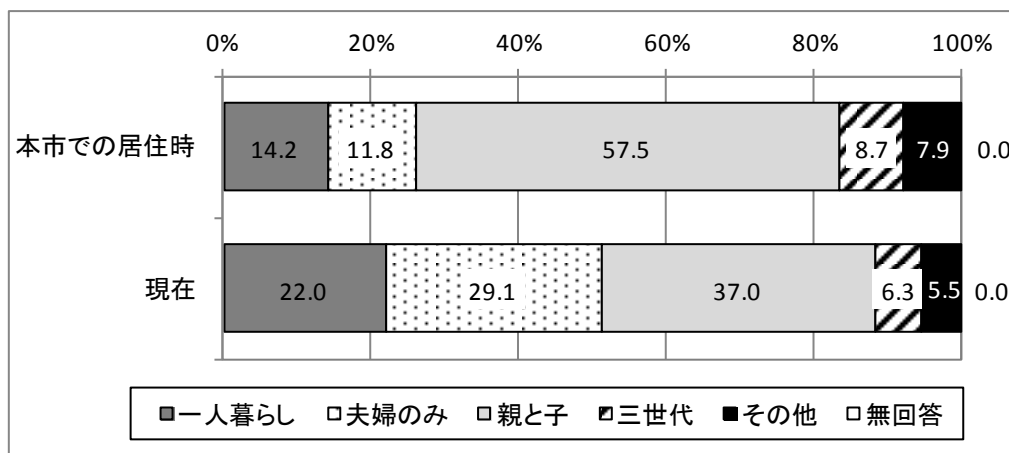


### ⑤転居前後の同居家族構成

転居前後の同居家族構成については、「本市での居住時」では「親と子」(57.5%)が最も高く、次いで「一人暮らし」(14.2%)となっています。

「現在」では「親と子」(37.0%)が最も高く、次いで「夫婦のみ」(29.1%)となっています。

図表-55 転居前後の同居家族構成 [n=127]

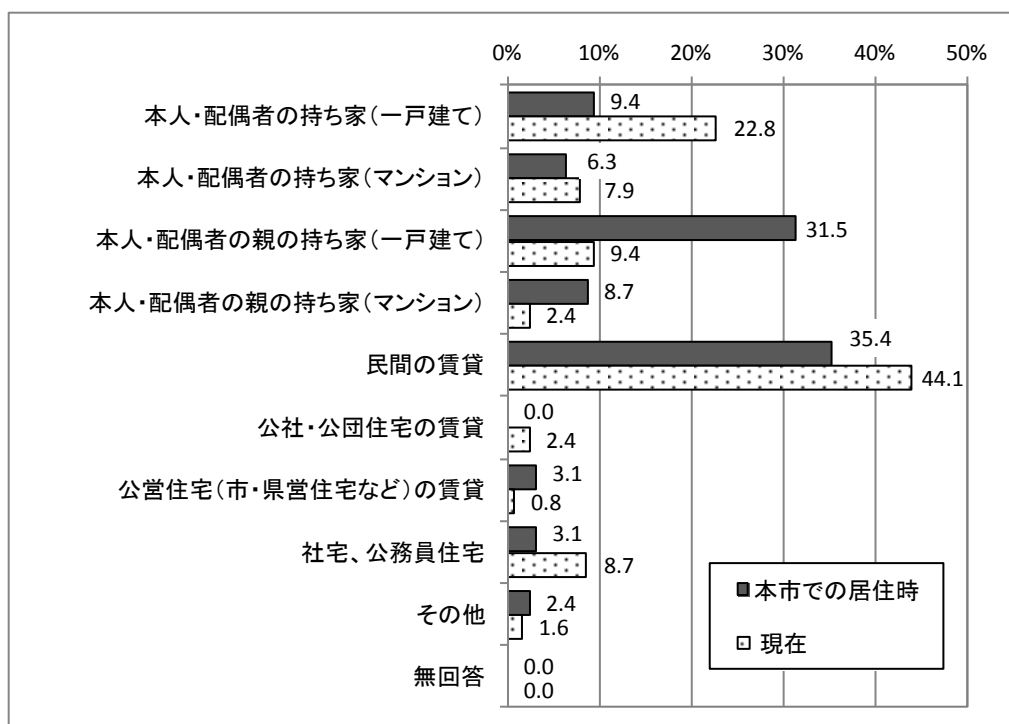


### ⑥居住形態

転居前後の居住形態については、「本市での居住時」では「民間の賃貸」(35.4%)が最も高く、次いで「本人・配偶者の親の持ち家(一戸建て)」(31.5%)となっています。

「現在」では「民間の賃貸」(44.1%)が最も高く、次いで「本人・配偶者の持ち家(一戸建て)」(22.8%)となっています。

図表-56 転居前後の居住形態 [n=127]

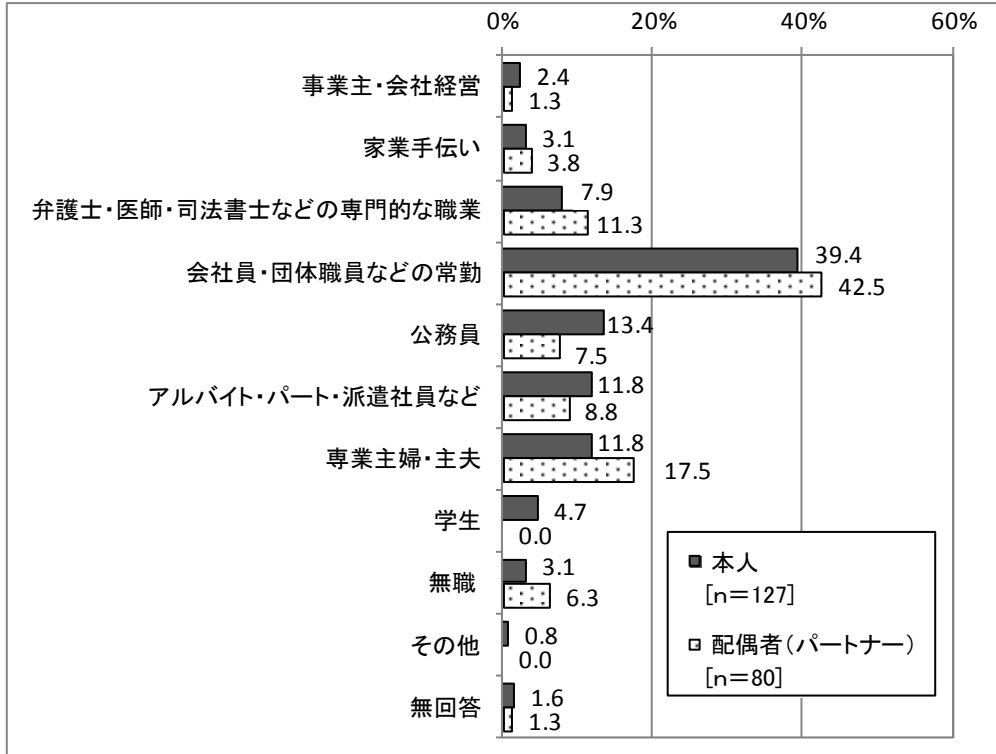


⑦本人、配偶者(パートナー)の職業

転出者の本人の職業については、「会社員・団体職員などの常勤」(39.4%)が最も高く、次いで「公務員」(13.4%)となっています。

配偶者(パートナー)の職業については、「会社員・団体職員などの常勤」(42.5%)が最も高く、次いで「専業主婦・主夫」(17.5%)となっています。

図表-57 本人、配偶者(パートナー)の職業

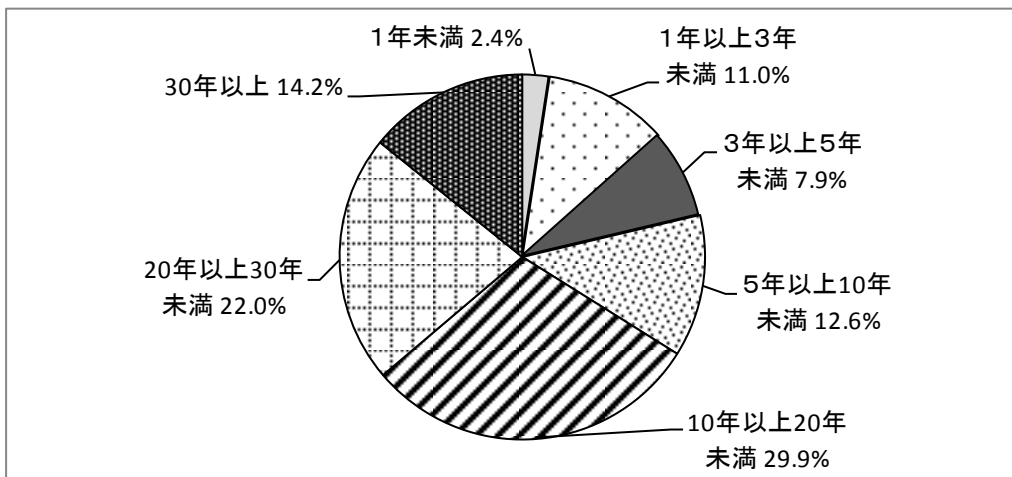


(2) 転居の動機や転居先の決定について

①本市での居住年数

転出者の本市での居住年数については、「10年以上20年未満」(29.9%)が最も高く、次いで「20年以上30年未満」(22.0%)となっています。

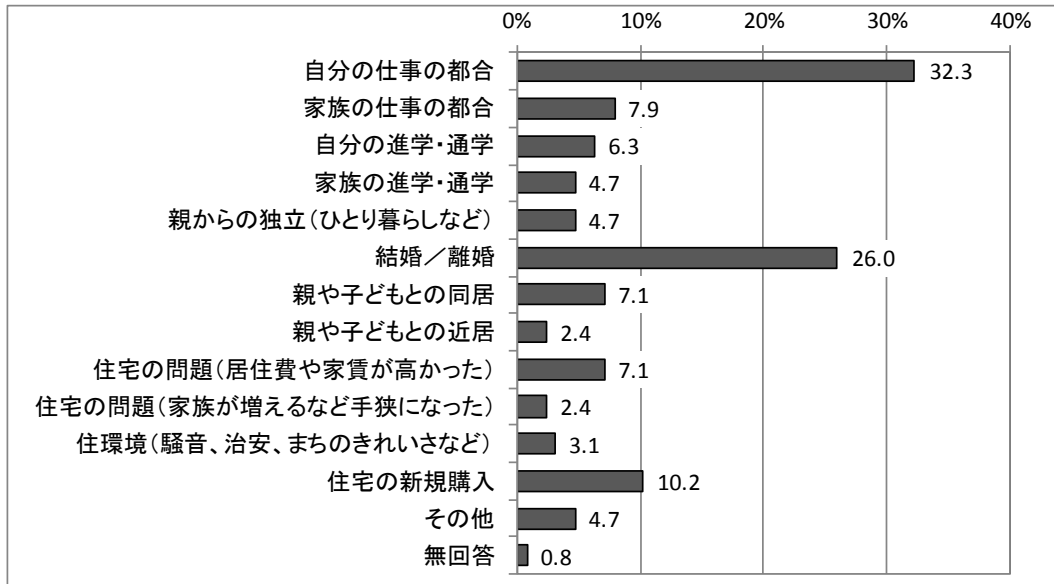
図表-58 本市での居住年数[n=127]



### ②本市から転居した主な理由

本市から転居した主な理由については、「自分の仕事の都合」(32.3%)が最も高く、次いで「結婚／離婚」(26.0%)となっています。

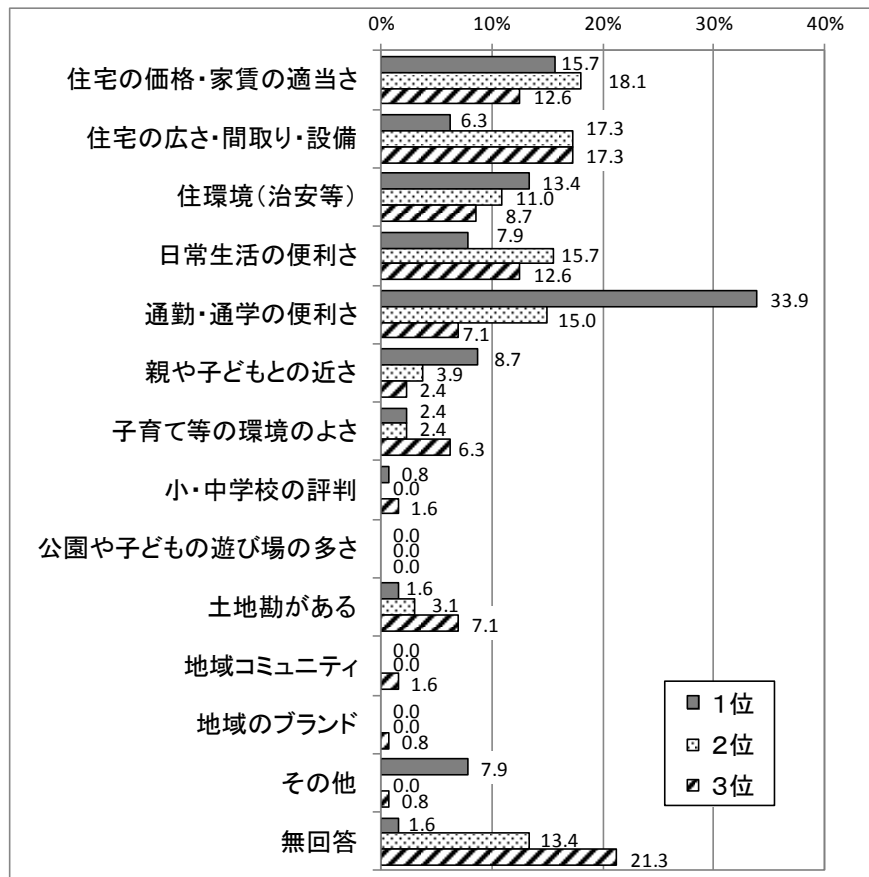
図表－59 本市から転居した主な理由(複数回答) [n=127]



### ③転居先を決める際に考慮したこと

転居先を決める際に考慮したことについては、1位にあげられているものでは「通勤・通学の便利さ」(33.9%)が最も高く、次いで「住宅の価格・家賃の適当さ」(15.7%)となっています。

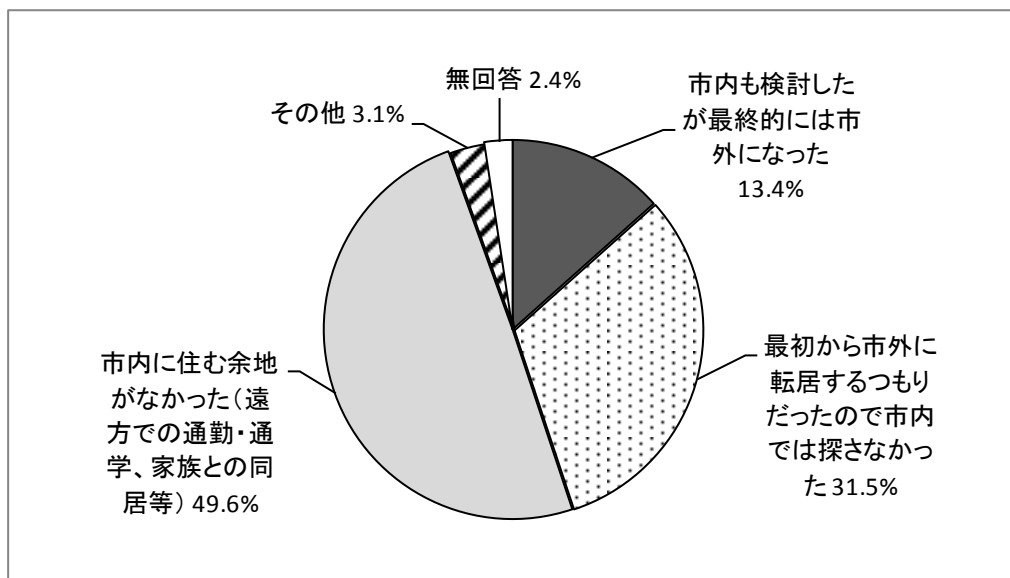
図表－60 転居先を決める際に考慮したこと



#### ④市内での転居における検討の有無

転居先を決める際の、市内での転居の検討の有無については、「市内に住む余地がなかった（遠方での通勤・通学、家族との同居等）」（49.6%）が最も高く、次いで「最初から市外に転居するつもりだったので市内では探さなかった」（31.5%）、「市内も検討したが最終的には市外になった」（13.4%）となっています。

図表-61 市内での転居における検討の有無 [n=127]

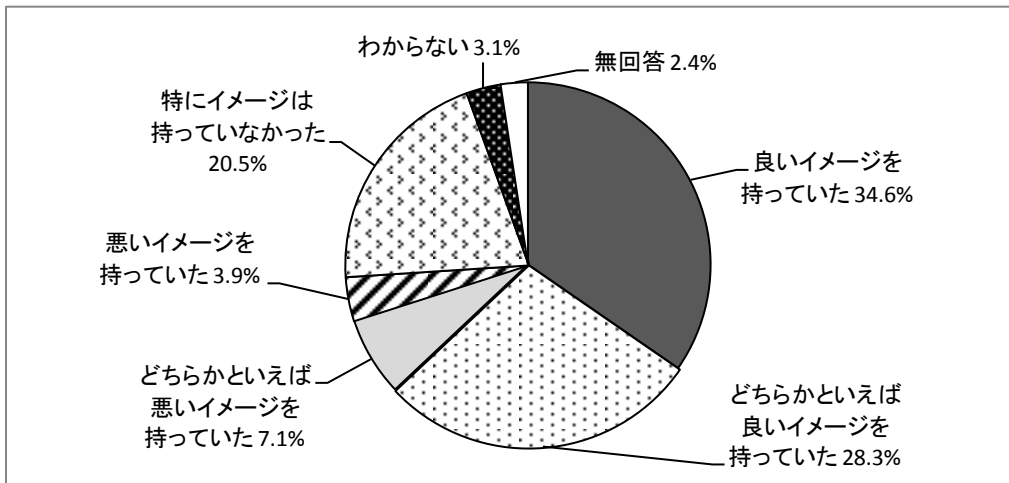


### (3) 本市に対するイメージや魅力・不満について

#### ①本市に住んでいた時のイメージ

転出者が本市に住んでいた時におけるイメージについては、「良いイメージを持っていた（『良いイメージを持っていた』と『どちらかといえば良いイメージをもっていた』の合計）」（62.9%）、「悪いイメージを持っていた（『どちらかといえば悪いイメージをもっていた』と『悪いイメージを持っていた』の合計）」（11.0%）、「特にイメージは持っていなかった」（20.5%）となっ

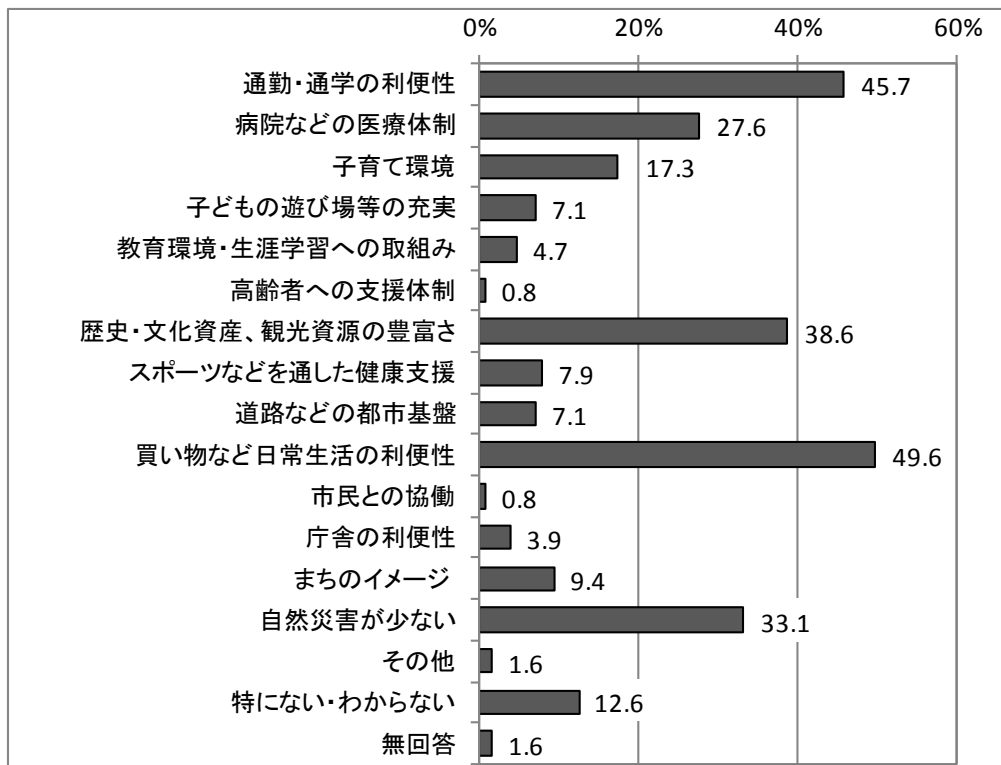
図表-62 本市に住んでいた時のイメージ [n=127]



#### ②本市の魅力

転出者が本市に住んでいた時における魅力については、「買い物など日常生活の利便性」（49.6%）が最も高く、次いで「通勤・通学の利便性」（45.7%）となっています。

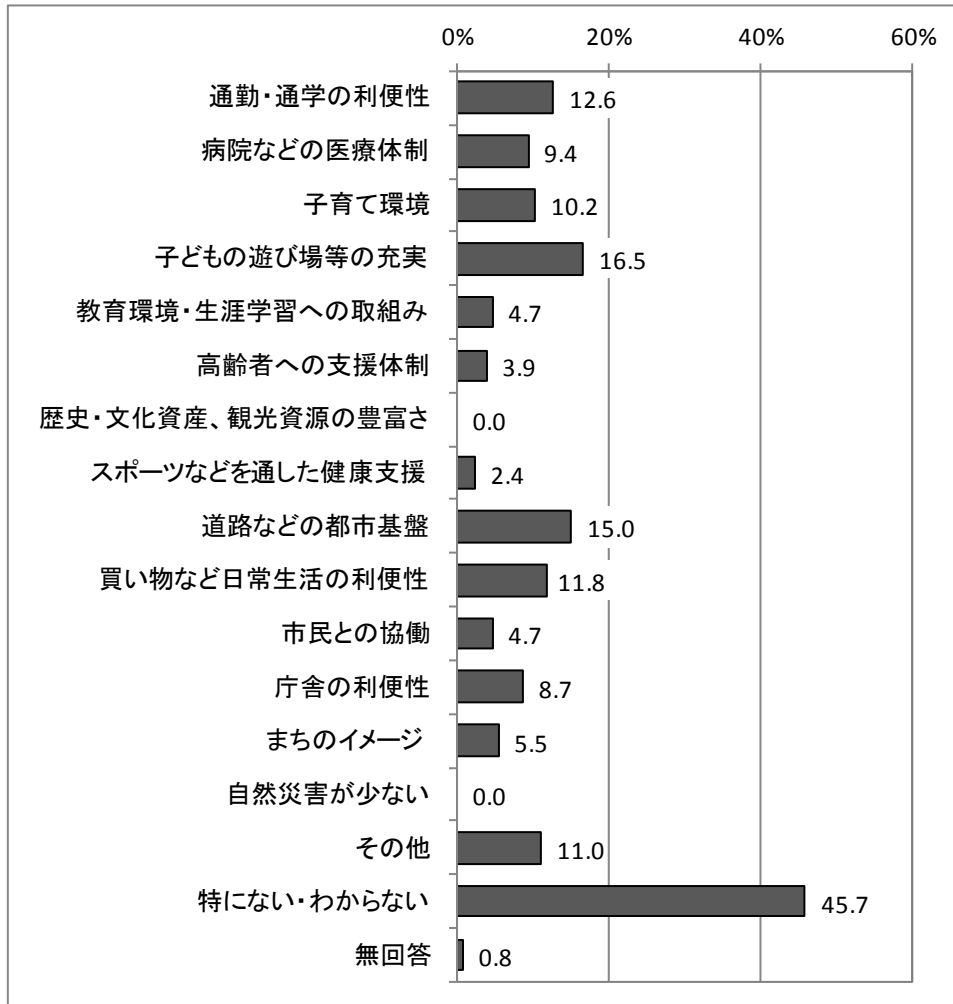
図表-63 本市の魅力（複数回答） [n=127]



③本市に対する不満

転出者が本市に住んでいた時における不満については、「特にない・わからない」(45.7%)が最も高く、次いで「子どもの遊び場等の充実」(16.5%)となっています。

図表-64 本市に対する不満(複数回答) [n=127]

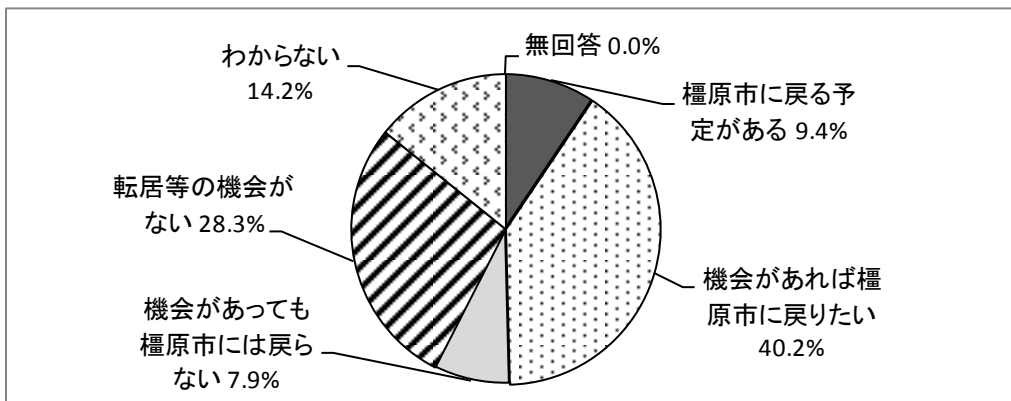


(4) 居住意向について

①本市での居住意向

転出者における本市での居住意向については、「機会があれば橿原市に戻りたい」(40.2%)が最も高く、次いで「転居等の機会がない」(28.3%)となっています。

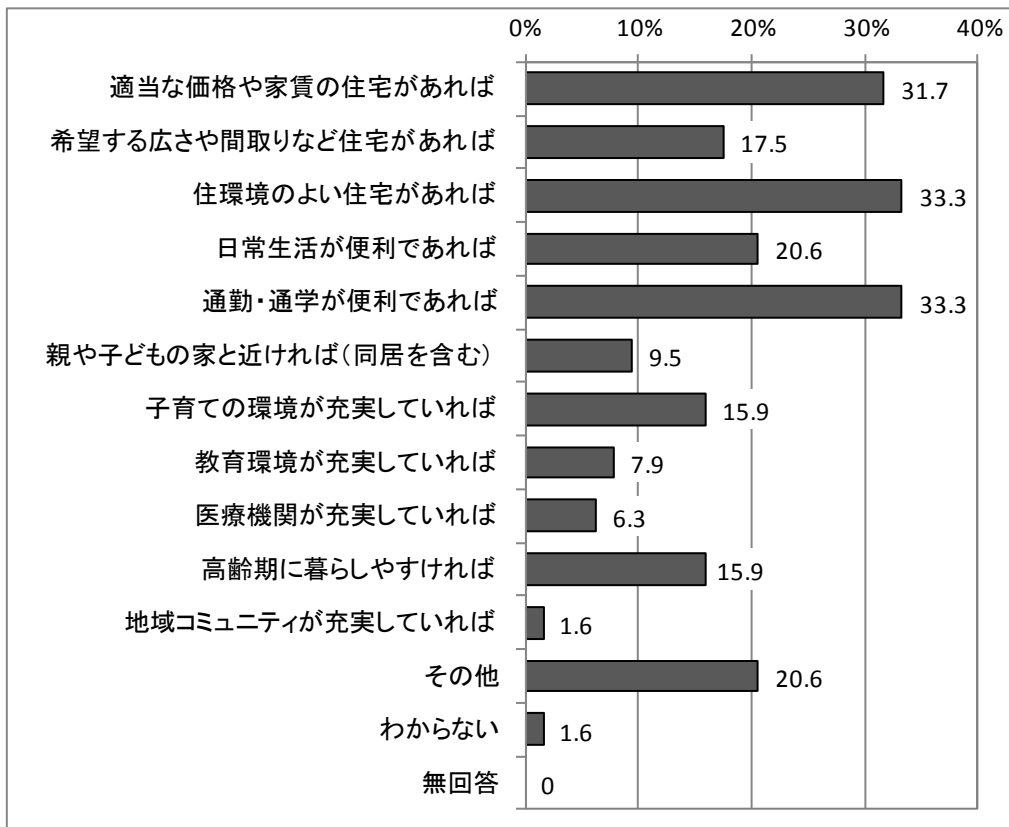
図表-65 本市での居住意向 [n=127]



②本市に住むための条件

「橿原市に戻る予定がある」と「機会があれば橿原市に戻りたい」と回答した人が、どのような条件が整えばもう一度橿原市に住みたいと思うかについては、「住環境のよい住宅があれば」、「通勤・通学が便利であれば」(ともに33.3%)が最も高く、次いで「適当な価格や家賃の住宅があれば」(31.7%)となっています。

図表-66 本市に住むための条件(複数回答) [n=63]



③ 檜原市の現状や将来のあり方について(自由回答)

檜原市の現状や将来のあり方については、36.2%の回答がありました。

自然環境・歴史文化遺産の保全、それらを生かした観光や市のアピールを求める意見や、交通・道路網や街の整備・開発に関する意見、子育てサービスを求める意見が多く上げられました。

図表-67 檜原市の現状や将来のあり方について(主な意見) [回答数 46 件]

|  |  |    |
|--|--|----|
| <p>&lt;安心・安全&gt;</p> <p>● 防犯・治安に関する意見</p> <p>【改善点や要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・警官をみかけることがほとんどなく、防犯意識が乏しい。</li> <li>・地域の治安を改善できるような政策をお願いしたい。</li> </ul>   |  | /等 |
| <p>&lt;福祉・健康づくり&gt;</p> <p>● 医療に関する意見</p> <p>【良いところ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良医大では最先端のがん治療が受けられた。</li> </ul> <p>【改善点や要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・檜原市や奈良県内で、急性期病院(高度救急救命など特に超急性期病院)がない。</li> <li>・病院も昔から開業しているからか、患者目線ではない。</li> </ul>   |  | /等 |
| <p>● 福祉に関する意見</p> <p>【改善点や要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉は更に充実していく必要がある。</li> </ul>   |  | /等 |
| <p>&lt;子育て・学習&gt;</p> <p>● 子育て・教育環境に関する意見</p> <p>【改善点や要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・葛城市、香芝市に比べ、子育てに関してのサービス、手当等不満。</li> <li>・子育て広場(支援センター、児童館)のような場所が少なく遠かった。</li> <li>・周りに公園が全くなく、子どもを遊ばせる場所がなかった。車がないと、どこにも連れて行けず不便。</li> <li>・私立幼稚園は学業に力を入れているようだが、子どもは伸び伸び遊ばせてあげてもよいのでは。</li> <li>・現状では子どもを行かせたいと思う学校がない。</li> </ul>   |  | /等 |
| <p>&lt;市民の自立と個性を生かす&gt;</p> <p>● コミュニティに関する意見</p> <p>【改善点や要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他から引越してきた者にとっては、閉鎖的に感じた。地域のふれあいの場も少なく挨拶を近所で交わす習慣もない。</li> <li>・地域のコミュニティがなく、閉鎖的。裏道を車で通るとき、道を譲っても挨拶もなく、高圧的。</li> </ul>  |  | /等 |
| <p>&lt;人と文化のふれあい&gt;</p> <p>● 歴史文化遺産に関する意見</p> <p>【良いところ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・考古学博物館があり、神武天皇陵、明日香村や纏向遺跡、寺、今井町など多くの観光資源があり、こんなに恵まれた土地は他にないのでは。</li> </ul> <p>【改善点や要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史文化遺産という長所を伸ばすとともに食、住、医療の安全・安定性の充実が必要。</li> </ul>  |  | /等 |
| <p>● 市のアピール・観光に関する意見</p> <p>【改善点や要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「檜原市でないと見られない、できない」というものがあればよい。檜原市出身の人、檜原市に何らかの関わり、関心を持つ人などを交えれば、他地域にはないものを見いだせる可能性はあるのでは。</li> <li>・就職で離れた若者たちを戻すことよりも、檜原市の知名度や魅力を向上させ、外から人を呼べるよう取り組んでいくことが重要。</li> <li>・檜原市の魅力あるところを駅近くに掲示するなどアピールする機会を増やせばよい。</li> <li>・観光等のアピールが中途半端。インパクトがある何かがあれば活性化されると思う。</li> <li>・檜原市は素晴らしいところだが、知らない人が多い。アピールしきれていない。</li> <li>・日本が誇る文化財を多数持っているにもかかわらず、有効活用できていない。周辺市と連携して観光に力を入れてほしい。檜原考古学研究所の一般へのアピールイベント、バスツアーなど。</li> </ul> |  | /等 |
| <p>● 生涯学習に関する意見</p> <p>【改善点や要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中年向けの健康教室や生涯学習講座等を増やしてほしい。</li> </ul>  |  |    |



<活力と賑わい>

●企業誘致・就業の場に関する意見

【改善点や要望】

- ・若者は就職のタイミングで離れる人が多い(職場の関係)。
- ・職住近接の点から企業の誘致、育成も必要かも。
- ・就業の機会が少ない。

/等

<快適な生活(環境)>

●人と自然の共生に関する意見

【良いところ】

- ・新しい店が出来て整備され便利になったが、昔ながらの土地や緑が多く残っている橿原市も良い。
- ・自然と歴史の豊かさなど橿原市には魅力的な点が多々ある。
- ・大型スーパー、飲食店も必要以上に増えているが、今までのような緑豊かでのんびりした静かな街に戻ってくれることを祈る。
- ・すぐに自然があるうえに、大阪への利便性はよかった。

【改善点や要望】

- ・たくさんの田畑が宅地化され寂しい。田畑の生き物や植物に触れられる環境を残す取組みに期待。
- ・田んぼ以外は何もなかったところに素晴らしいものもあった。美しい道そのものが観光資源。利便性を追求した開発で、単なる通過点のありきたりな地方都市になっていないか。

/等

●交通・道路整備に関する意見

【改善点や要望】

- ・せっかく観光資源があるのにアクセスが悪い(駐車場不足、公共交通機関の本数減少)。
- ・通院をもっとスムーズにできるような公共交通機関を整備して欲しい。
- ・高齢者の移動手段が少ないようなので、無料バスなどがあれば良い。
- ・難波や梅田への連絡がスムーズでない。大阪方面への電車の本数が少ない。大阪方面から八木駅までの終電が早い。結果、住みづらく感じる。
- ・交通が不便なのでマイカーを持っている人が多かった印象。
- ・道路状況が良くなく(常に混んでいるイメージ)、気軽に行こうとは思えない。
- ・自転車を通りやすい道づくりが必要。

/等

●街の整備・開発に関する意見

【改善点や要望】

- ・買い物、公共施設の場所が車でしか行けないところに多く、市中心部に集約してもらいたい。
- ・一般的に他市町より道路などの都市基盤が弱い。(大和八木西側真菅駅近辺の道が狭いわりに交通量が多く危険。民間によるミニ開発が多いので街並みが雑然。)行政が音頭をとって規制するべき。
- ・市中心部のイメージは雑然とした感じ。主要道路から一步入ると路地みたいな道で運転しにくい。
- ・八木駅前の空き地問題は民間に活用してもらえばどうか。八木周辺の整備。せっかく特急が止まるのに降りても行くところがない。
- ・大阪、京都地区への通勤、通学に適するように駅近のニュータウンの再開発をすべき(生駒や学園前を参考に)。奈良市内には仕事がありませんのでベッドタウンとしてもっとアピールすべき。

/等

●利便性に関する意見

【改善点や要望】

- ・橿原市に住んでいる時はあまり不便を感じなかったが、堺市に移ってから、橿原市は不便(買い物、大阪までの通勤)だったと実感。最近では近鉄電車の駅員もいなく、時間帯によってはすごくさびれている感じ。
- ・一度、都心で住むと戻れない。特に車がないと生活しづらい点。

/等

<行政>

●市政・市職員に関する意見

【改善点や要望】

- ・転居してわかったが、市民税が高かった。
- ・ゴミ袋の購入金額が高かった。
- ・橿原市はどうしてあんなに水道代が高いのか。
- ・業者との癒着とかドロドロしているイメージが思い浮かぶのでしっかりクリーンにやってほしい。
- ・市役所職員の対応が悪い、態度が高圧的。笑顔であいさつぐらいできないかと思う。

/等

<その他>

●その他

【良いところ】

- ・橿原市で生まれ育ったことを誇りに思っている。いつまでも故郷を大切にしてほしいし、大切に見つめていきたい。

/等